

那覇市スポーツ推進計画

(2019 年度～2028 年度)

どこでも誰でも生涯スポーツができるまち NAHA
～「生涯スポーツ社会」の実現～



2025(令和7)年3月 中間見直し



那覇市教育委員会

目次

第1章 計画の基本的な考え方	1
1. 計画の中間見直しについて	1
2. 計画の背景	1
3. 計画の目的	4
4. 計画の位置づけ	4
5. 計画の期間	5
6. 本計画と SDGs	5
第2章 那覇市のスポーツを取り巻く現状と課題	6
1. スポーツ施設の現況	6
2. 市民のスポーツへの取組状況と市に対する要望（計画策定時のアンケート調査より）	19
3. スポーツへの取組を支援する組織・団体・指導者	30
4. 那覇市が主催する主要なスポーツイベント・教室	38
第3章 那覇市が目指すスポーツ社会	40
1. 目指す将来像	40
2. 数値目標	41
3. 施策体系	42
第4章 推進のための施策	43
1. 市民のライフステージに合わせたスポーツ・レクリエーションの推進	43
2. 身近でスポーツ・レクリエーションができる環境の整備・充実	52
3. スポーツコンベンション拠点地としての魅力向上	60
4. 行政、学校、地域、企業、スポーツ団体等との連携・協働推進	62
第5章 計画の推進に向けて	63
1. 施策の進行管理のあり方	63

資料編

1. 那覇市スポーツ推進計画・推進のための施策実施状況
2. 市民アンケート調査
3. 児童・生徒の体力運動能力テスト（平成 30 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査）
4. 市内スポーツ関係団体ヒアリング調査
5. 那覇市スポーツ推進計画の主な策定経過
6. 那覇市スポーツ推進計画（中間見直し）諮問書
7. 那覇市スポーツ推進計画（中間見直し）答申書
8. 那覇市スポーツ推進審議会委員名簿
9. 那覇市スポーツ推進審議会条例

第1章 計画の基本的な考え方

1. 計画の中間見直しについて

本計画の策定時に前期終了の際に計画の中間見直しを行うとしていたことから、2024年度(令和6年度)に計画の進捗状況や社会情勢の変化、上位・関連計画の改定等を踏まえ、計画の一部見直しを実施しました。

本計画策定後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を契機とし、本市でも可能な限りオンライン上で行政手続きを行うDXの推進が図られ、スポーツ施設においてもさらなるDXの推進が求められています。

また、感染拡大に伴う社会変容により交流の希薄化が叫ばれる中、スポーツ・レクリエーションは、それを楽しむことを通じて地域社会における様々な交流が生まれ、ウェルビーイング(well-being)を実現するツールとなることが期待されています。

令和4年度には国において、「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」が策定され、将来にわたって生徒が継続的にスポーツに親しむ機会を確保できるよう、部活動の地域連携・地域移行(展開)に向けた取り組みが求められています。

その他にも、SDGsやカーボンニュートラルへの取り組みなども求められており、社会情勢の変化を本計画に反映させることを中間見直しの主題としました。

2. 計画の背景

● スポーツ・レクリエーションに対する意識の高まり

近年、長寿県・沖縄のブランドイメージが大きく揺らいでいるなか、「健康長寿おきなわ」の復活に向け、食生活の見直しなどに取り組むとともに、日常的な運動の習慣を身に付けることで健康増進を図ろうという気運が盛り上がっています。スポーツ・レクリエーションを楽しみながら適切に継続することで、健康寿命を延ばすことができ、社会全体での医療費抑制にもつながると期待されます。

また、スポーツ・レクリエーションは、高齢者の生きがいづくり、障がいのある方の自立や社会参加にもつながるほか、子どもたちの基礎的な体力や運動能力の向上、心身の健全な発達・成長を促す観点からも重要です。

スポーツ・レクリエーションの振興、推進は、健康で活力に満ちた社会の実現に必要な不可欠なものであるといえます。

【スポーツとは】

スポーツは文化としての身体活動を意味する広い概念として定義されています。
競技スポーツだけではなく、健康維持や仲間との交流などを目的として行われる、散歩やジョギング・ランニング、ダンスや体操、ハイキングやキャンプ、釣り、キンボールスポーツなどをはじめとする、ニュースポーツなども、スポーツとして位置づけられています。

● 国・沖縄県によるスポーツ施策の推進

昭和 36(1961)年、当時戦後の生活水準の向上と産業の近代化による余暇の増大などによるスポーツに対する国民の関心の高まりを背景に、昭和 39(1964)年の東京オリンピック開催を契機として、我が国のスポーツ振興の基本を定める「スポーツ振興法」が制定されました。

スポーツ振興法の下、我が国のスポーツは国民の身近なものとして発展し、国民の心身の健全な発達や明るく豊かな国民生活の形成に大きく寄与してきました。

しかし制定から半世紀が経過し、その後の我が国におけるスポーツを取り巻く社会状況の変化（スポーツ活動の発展、スポーツ人口の増加、アマチュアとプロの関係の変化など）に対応するため、「スポーツ立国戦略」（平成 22(2010)年 8 月文部科学省策定）を経て、平成 23(2011)年に「スポーツ基本法」が制定されました。

この法律は、スポーツに関し、基本理念を定め、国や地方公共団体の責務・スポーツ団体の努力等を明らかにするとともに、スポーツに関する施策の基本となる事項を定めることにより、スポーツ立国の実現を目指し、国家戦略として、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進し、国民の心身の健全な発達、明るく豊かな国民生活の形成等に寄与することを目的としています。

その後、スポーツ基本法の規定に基づき、平成 24(2012)年 3 月、「スポーツ基本計画」が策定されました。「スポーツ基本計画」は、スポーツ基本法の理念を具体化し、スポーツに関する施策の総合的・計画的な推進を図るための重要な指針として位置付けられるものです。平成 24(2012)年度から平成 28(2016)年度までの 5 年間を第 1 期計画として策定されたのち、現在は令和 4(2022)年度から令和 8(2026)年度までの 5 年間を計画期間とする第 3 期計画が策定されており、スポーツを通じた地域活性化、健康増進による健康長寿社会の実現、経済発展、国際理解の促進など「スポーツが社会活性化等に寄与する価値」を高めるべく、具体的な施策が展開されています。

沖縄県においても、平成 25(2013)年 3 月に、2021 年度までの 9 年間を期間とする「沖縄県スポーツ推進計画」が策定されたのち、令和 4(2022)年度から令和 8(2026)年度までの 5 年間を第 2 期とした計画が策定されています。

計画では、スポーツが、県民の健康や暮らしを豊かにするとともに、地域社会の活性化や

沖縄経済へ大きな活力を与える可能性を持っているとされ、スポーツ振興のあり方、スポーツ活動の普及・推進による活力ある地域社会の形成及び新たな産業の振興について、基本的な方向性が示されています。

● 那覇市のこれまでのスポーツ推進の取り組み

スポーツ振興法のもと、平成 18(2006)年 9 月に策定された「那覇市スポーツ振興基本計画」では、「市民が元氣にかがやく生涯スポーツ社会“なは”」をめざすこととしています。生涯スポーツ社会とは、スポーツ・レクリエーションが生活に欠かせない文化として市民生活の中に根付き、すべての市民が生涯にわたって各時期にスポーツに親しむことができる社会であるとし、そのために、市民が「だれでも、いつでも、どこでも、いつまでも」、それぞれの体力や年齢、技術、興味等に応じて、スポーツ・レクリエーションを楽しみ、生涯にわたり元氣に輝く社会を築くことを重要な課題と位置づけ、市民のスポーツへの多様なかわりが可能となるスポーツ環境の整備に取り組んできました。

● 那覇市における新たなスポーツ施策の必要性

スポーツ基本法と、これに基づく第 2 期スポーツ基本計画において、地方公共団体は、国民やスポーツ団体等のスポーツ活動を支援するため、第 2 期スポーツ基本計画を参酌してできる限りすみやかに「地方スポーツ推進計画」を改定・策定することが期待されています。那覇市では、平成 18(2006)年に「那覇市スポーツ振興基本計画」が策定され、スポーツ・レクリエーション推進に関する施策に取り組んできました。しかし、策定から 12 年が経過していることに加えて、平成 29(2017)年 12 月には、那覇市のまちづくりの指針となる「第 5 次那覇市総合計画」が策定されました。

第 5 次那覇市総合計画では、平成 30(2018)年度から 2027 年度までの 10 年間を期間とし、長期的展望に立ち、本市の将来像並びにその実現のための基本理念及び方向性を示す基本構想と、そこで示された将来像を実現するための施策の方向性が体系的に示されています。これら、社会情勢の変化、スポーツを巡る状況の変化と、第 5 次那覇市総合計画の策定を踏まえ、新たなスポーツ推進のあり方を示す地方スポーツ推進計画として、「那覇市スポーツ推進計画」を策定しました。

3. 計画の目的

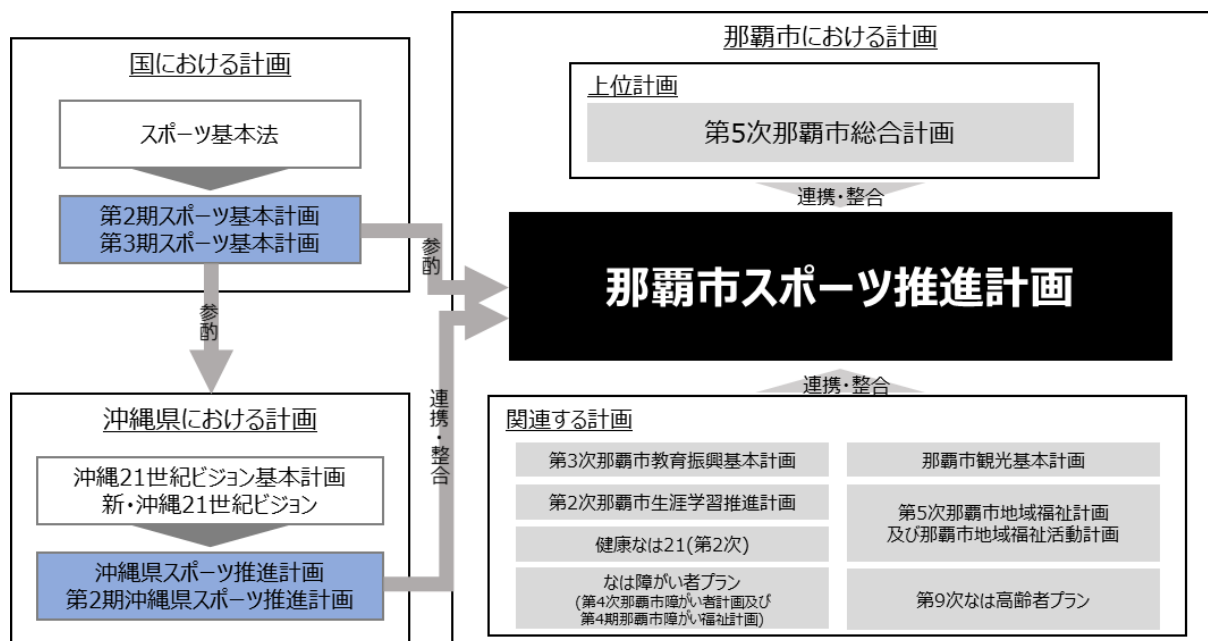
本計画は、那覇市における市民のスポーツへの取組の現状や、スポーツ推進に向けたニーズ等を踏まえ、「那覇市スポーツ振興基本計画」で目指した生涯スポーツ社会の実現をさらに推し進めることを目的としています。

4. 計画の位置づけ

本計画は、「第2期スポーツ基本計画」を参酌するとともに、「沖縄県スポーツ推進計画」も踏まえ、策定しました。

さらに、那覇市の最上位計画である「第5次那覇市総合計画」や、関連する各種計画との連携・整合性を図りつつ、那覇市におけるスポーツ関連施策の総合的な推進を図るための計画として位置づけられる計画です。

本計画策定後、国においては令和4年度に「第3期スポーツ基本計画」、県においても令和4年度に「第2期沖縄県スポーツ推進計画」へと改定されています。



5. 計画の期間

計画の期間は、平成 31(2019)年度から 2028 年度までの 10 年間とします。本計画においては、10 年間を通した、「目指す将来像」、「目標値」、目標値の達成のために取り組む施策を定めることとします。

また、平成 31(2019)年度から 23 年度までを前期、2024 年度から 28 年度までを後期とします。

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	
那覇市												
	第5次那覇市総合計画											
	那覇市スポーツ推進計画											
	前期〈2019～2023〉					後期〈2024～2028〉						
国	第2期スポーツ基本計画				第3期スポーツ基本計画							
沖縄県	沖縄21世紀ビジョン基本計画				新・沖縄21世紀ビジョン							
	沖縄県スポーツ推進計画				第2期沖縄県スポーツ推進計画							

6. 本計画と SDGs

SDGs(Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標)とは、貧困、飢餓、健康・福祉、教育、ジェンダー、気候変動、平和などに関する 17 のゴールと 169 のターゲットから構成され、2015 年 9 月の国連サミットで加盟国の全会一致により採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された 2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

本市においても、SDGs の持つ「誰一人取り残さない」という理念に基づいた取組みを総合計画と一体的に推進しております。スポーツ関連施策においても、その理念を念頭に置き施策を展開していきます。

第2章 那覇市のスポーツを取り巻く現状と課題

1. スポーツ施設の現況

● 公共体育施設

那覇市には、那覇市民体育館、那覇市営奥武山野球場、那覇市民首里石嶺プール等の公共体育施設が整備されています。これらの施設は、主に指定管理者による管理運営が行われており、市民のスポーツ・レクリエーション環境の充実を図っています。利用者数も、堅調に推移しており、市民の健康づくり、スポーツ・レクリエーション活動の場として積極的に活用されています。

しかしながら、一部施設では老朽化が進み、スポーツ施設の機能を保つために、施設整備計画の検討の必要性が高まっています。

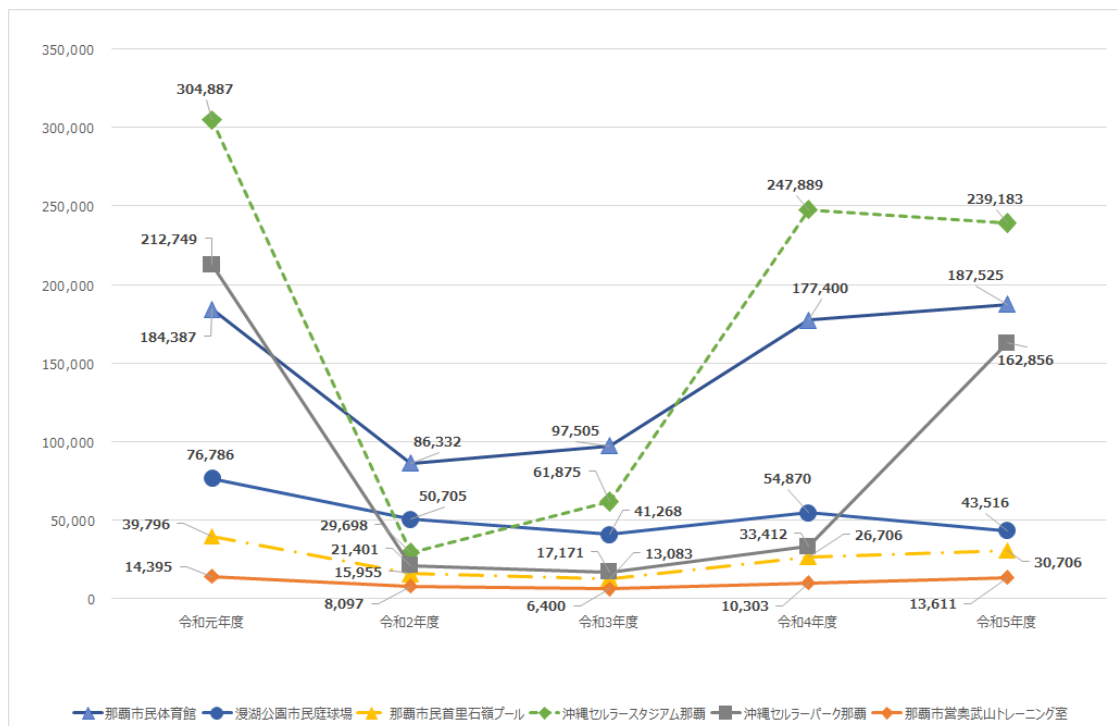
また、体育施設設備のバリアフリー化は進んでいるものの、既存の施設運用の中で、障がい者にとっても、気軽に利用できる仕組みづくりについて、検討を進める必要があります。

<公共体育施設一覧（令和6年7月現在）>

施設名 所在地	施設概要	ス ロ ー プ	バ リ ア フ リ ー ト イ レ	エ レ ベ ー タ ー
那覇市民体育館 那覇市字識名1227番地	メインアリーナ、サブアリーナ、トレーニングルーム、会議室、多目的室（兼卓球室）、控室、ステージ、観覧席、更衣室	○	○	○
漫湖公園市民庭球場 那覇市鏡原町37番1号	砂入り人工芝コート10面、クラブハウス1棟	—	—	—
那覇市民首里石嶺プール 那覇市首里石嶺町2丁目70番地9	一般プール、幼児用プール、トレーニングルーム	○	○	○
那覇市営奥武山野球場 那覇市奥武山町42番地の1	野球場、会議室、野球資料館、応接室、医務室、貴賓室、競技運営室、大会主催者室、記録室、審判員室、整備員控室、ロッカールーム、ウォーミングアップ室、シャワールーム、次選手控室、審判員控室、警備員室、室内ブルペン、ダッグアウト、カメラマン席、切符売り場	○	○	○
那覇市営奥武山屋内運動場 那覇市奥武山町50番地の1地先	屋内運動場、更衣室	○	○	/
那覇市営奥武山トレーニング室 那覇市奥武山町42番地の1地先	トレーニング室、シャワー室、更衣室	○	○	/

○：設備あり —：設備なし /：設備不用

< 公共体育施設利用者数の推移（令和元(2019)年度～令和5(2023)年度） >



- **学校体育施設**

那覇市では、市民が身近な場所で健康や体力の維持増進のために利用できる施設として、学校教育に支障のない範囲で、学校体育施設を開放しています。また、開放している各施設には、開放時間中の施設管理を担う学校体育施設開放管理指導員（那覇市教育委員会が委嘱）を配置しています。

市民からの利用ニーズは高く、多くの利用申し込みが寄せられています。しかしながら、開放できる施設には限りがあるため、すべての要望に応えることが困難な状況が続いており、学校体育施設の開放のあり方、運用について、改めて検討が必要となっています。

<学校体育施設一覧（令和7年(2025)年1月現在）>

（小学校体育施設）

学校名	体育館			武道場			運動場		
	スロープ	バリアフリー トイレ	エレベーター	スロープ	バリアフリー トイレ	エレベーター	夜間照明	スロープ	バリアフリー トイレ
安謝小	－	○	－	施設なし			－	－	－
城東小	－	－	－	施設なし			－	－	－
城北小	○	○	○	施設なし			－	－	－
城西小	○	○	/	施設なし			－	－	－
城南小	－	－	/	施設なし			－	○	○
真嘉比小	○	○	/	施設なし			－	－	－
泊小	○	○	○	施設なし			－	－	○
大道小	○	○	/	施設なし			－	－	－
松川小	改築中			施設なし			－	○	－
識名小	○	○	/	施設なし			－	－	○
壺屋小	－	－	○	施設なし			－	－	○
若狭小	○	○	/	施設なし			－	－	○
神原小	○	○	○	施設なし			－	－	－
真和志小	○	○	○	施設なし			－	－	－
与儀小	○	○	/	施設なし			－	○	－
城岳小	○	○	/	施設なし			－	○	－
天妃小	○	○	○	施設なし			－	－	○
開南小	○	○	○	施設なし			－	－	○
垣花小	○	○	○	施設なし			－	－	○
小禄小	－	○	/	施設なし			－	－	○
高良小	○	○	/	施設なし			－	－	○
宇栄原小	○	○	/	施設なし			－	－	－
松島小	－	－	/	施設なし			－	○	－
古蔵小	○	○	/	施設なし			－	－	○
上間小	○	○	/	施設なし			－	－	○
大名小	○	○	/	施設なし			－	○	－
石嶺小	○	○	/	施設なし			－	－	○
仲井真小	－	－	/	施設なし			－	○	－
金城小	○	○	/	施設なし			－	－	－
曙小	－	－	－	施設なし			－	－	－
小禄南小	－	○	－	施設なし			－	－	－
真地小	○	－	/	施設なし			－	○	－
さつき小	○	○	/	施設なし			－	－	－
銘苅小	○	○	/	施設なし			－	－	○
天久小	○	○	/	施設なし			－	○	○
那覇小	○	○	/	施設なし			－	－	○

○：設備あり －：設備なし /：設備不要

(中学校体育施設)

学校名	体育館			武道場			運動場		
	スロープ	バリアフリー トイレ	エレベーター	スロープ	バリアフリー トイレ	エレベーター	夜間照明	スロープ	バリアフリー トイレ
安岡中	○	○	/	○	—	—	—	—	—
首里中	—	○	/	施設なし			○	—	—
真和志中	○	○	/	—	—	—	—	—	—
石田中	○	—	/	—	—	—	○	○	—
那覇中	—	—	/	—	—	—	○	○	—
上山中	○	○	/	—	—	—	—	—	○
神原中	○	○	/	○	○	—	—	○	○
寄宮中	—	○	/	—	—	○	—	○	○
古蔵中	○	○	○	—	—	—	—	—	—
小禄中	○	—	/	—	—	—	○	○	○
松島中	○	○	/	○	○	—	○	—	○
城北中	○	○	/	○	○	—	○	○	○
鏡原中	○	○	/	○	—	—	—	○	○
松城中	—	—	/	施設なし			—	○	—
仲井真中	—	—	/	—	—	—	—	○	—
金城中	○	—	/	施設なし			○	—	—
石嶺中	○	—	/	—	—	—	—	○	—

○：設備あり —：設備なし /：設備不要

< 学校体育施設開放状況（令和 6 年 7 月時点） >

開放施設	開放校	開放時間	使用料
小学校体育館	小学校 35 校	平日 17：30～21：30 土日・公休日 8：00～21：30	(1 時間全面) 797 円
中学校体育館	中学校 17 校	平日 17：30～21：30 土日・公休日 8：00～21：30	(1 時間全面) 834 円
武道場	中学校 7 校 石田中・神原中・寄宮中・松島中・石嶺中・小祿中・古蔵中	19：00～21：30	(1 時間全面) 262 円
グラウンド (照明設置校)	中学校 5 校 首里中・石田中・小祿中・金城中・城北中 ※那覇中学校、松島中学校、神原中学校については利用を一時停止しています。	19：30～21：30	(2 時間) 野球 5,846 円 サッカー等 3,720 円

【利用申し込み方法】 市民スポーツ課に問い合わせを行う。

● 地域学校連携施設

地域学校連携施設は、児童生徒や地域の方々のコミュニティ・生涯学習の場として、現在市内 27 の小中学校に設置されており、レクリエーション等の活動が可能となっています。

< 地域学校連携施設を有する学校（令和 6 年 7 月時点） >

- ・小学校：城東小、城南小、泊小、大道小、松川小、識名小、若狭小、神原小、真和志小、与儀小、城岳小、開南小、垣花小、宇栄原小、高良小、松島小、古蔵小、上間小、大名小、石嶺小、仲井真小、曙小、小祿南小、真地小、さつき小、銘苅小、天久小、那覇小
- ・中学校：石田中、城北中、上山中、鏡原中

【お問い合わせ先：生涯学習課】

< 学校体育施設利用者数 令和元(2019)年度～令和5(2023)年度 >

(学校体育館利用状況)

学校名	R1		R2		R3		R4		R5		
	稼働率	利用人数	稼働率	利用人数	稼働率	利用人数	稼働率	利用人数	稼働率	利用人数	
小学校	安 謝	75.5%	2,847	89.8%	1,598	100.0%	749	97.5%	2,010	84.4%	1,925
	城 東	88.3%	3,031	91.9%	1,340	96.2%	482	87.5%	1,343	96.0%	1,847
	城 北	91.9%	4,463	93.9%	2,383	98.2%	1,100	96.0%	3,579	89.9%	4,075
	城 西	91.5%	3,200	95.3%	1,898	98.5%	776	97.6%	3,092	99.2%	3,051
	城 南	95.7%	5,080	95.3%	2,194	100.0%	902	97.3%	2,535	94.9%	3,420
	真 嘉 比	75.1%	4,038	91.8%	2,133	88.2%	910	89.0%	3,092	81.1%	3,277
	泊	87.1%	2,916	85.4%	1,415	87.8%	966	84.7%	1,884	90.6%	2,160
	大 道	86.2%	3,329	86.0%	1,799	87.5%	761	92.9%	3,219	91.0%	4,203
	松 川	86.1%	3,507	84.6%	1,833	76.8%	631	81.1%	615	—	—
	識 名	94.6%	4,877	92.9%	2,652	87.5%	132	—	—	92.7%	2,883
	壺 屋	53.3%	249	90.5%	1,979	91.8%	569	97.0%	2,115	90.9%	2,159
	若 狭	79.9%	3,234	92.5%	2,078	93.9%	1,004	80.2%	901	—	—
	那 覇	96.8%	3,403	93.1%	1,970	90.6%	931	91.8%	3,478	95.3%	4,119
	神 原	100.0%	1,953	—	—	—	—	95.0%	3,104	90.1%	3,729
	真 和 志	92.9%	6,123	94.8%	2,640	97.4%	1,164	96.6%	3,853	92.1%	3,969
	与 儀	90.2%	3,026	90.8%	1,541	77.8%	72	—	—	100.0%	60
	城 岳	88.3%	6,625	85.7%	2,408	83.8%	642	84.8%	3,379	94.7%	4,692
	天 妃	81.5%	1,230	—	—	—	—	96.4%	240	88.6%	304
	開 南	85.6%	3,464	—	—	—	—	86.7%	1,879	94.3%	5,584
	垣 花	85.1%	3,094	91.8%	679	—	—	94.5%	689	94.9%	2,121
	小 禄	47.0%	379	87.1%	869	76.0%	297	75.4%	924	89.3%	1,091
	高 良	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	宇 栄 原	97.8%	1,399	—	—	—	—	98.0%	1,992	84.8%	2,935
	松 島	85.2%	2,906	91.2%	2,354	90.9%	963	93.9%	3,047	88.8%	2,923
	古 蔵	82.3%	3,149	90.4%	2,417	94.0%	1,312	93.3%	1,687	—	—
	上 間	—	—	—	—	—	—	86.8%	3,213	90.7%	4,106
	大 名	85.6%	2,628	77.5%	914	61.4%	228	72.3%	554	60.6%	486
	石 嶺	83.0%	3,906	94.1%	168	—	—	—	—	—	—
	仲 井 真	93.9%	4,232	95.4%	2,783	96.4%	1,171	97.6%	3,894	96.2%	4,079
	金 城	96.5%	4,877	95.5%	3,424	98.9%	1,516	97.8%	3,212	91.9%	3,312
	曙	94.7%	4,112	93.0%	2,420	95.7%	879	99.6%	3,877	98.0%	3,807
	小 禄 南	94.7%	4,445	94.4%	2,845	96.5%	1,191	95.0%	3,437	91.9%	3,600
	真 地	93.5%	3,731	91.9%	2,105	91.7%	877	89.7%	3,105	92.1%	3,141
	さ つ き	97.3%	6,495	93.3%	3,262	94.2%	1,426	97.2%	5,732	95.7%	5,528
	天 久	95.0%	4,305	93.8%	2,194	97.4%	1,010	94.1%	4,488	94.0%	4,208
	合 計	88.8%	116,253	91.3%	58,295	92.0%	22,661	92.7%	80,169	91.7%	92,794
中学校	安 岡	94.6%	2,043	—	—	—	—	97.3%	2,366	92.9%	3,681
	首 里	98.6%	5,348	92.5%	3,365	85.9%	1,193	87.9%	4,666	93.9%	5,376
	真 和 志	90.9%	6,171	91.8%	3,013	91.2%	1,398	91.6%	4,549	90.8%	5,064
	石 田	98.4%	7,326	96.9%	4,445	98.8%	1,678	97.1%	5,697	96.8%	6,709
	那 覇	97.0%	6,021	96.1%	3,569	90.5%	1,653	98.3%	5,863	97.7%	5,495
	上 山	97.9%	6,462	94.8%	3,990	97.4%	1,582	94.4%	5,559	91.9%	6,001
	神 原	97.3%	11,172	96.7%	6,037	100.0%	1,816	100.0%	8,950	98.3%	8,742
	寄 宮	96.7%	7,628	95.5%	3,626	95.4%	1,370	96.4%	5,289	96.9%	7,015
	古 蔵	—	—	—	—	94.4%	1,688	97.5%	5,501	95.9%	5,811
	小 禄	99.3%	6,486	94.9%	3,706	93.4%	1,715	98.0%	5,799	94.3%	4,877
	松 島	96.6%	7,414	96.6%	5,028	100.0%	1,661	99.4%	2,816	—	—
	城 北	97.9%	5,153	95.8%	2,823	98.8%	1,312	97.4%	4,347	96.5%	4,294
	鏡 原	94.1%	4,500	96.4%	3,539	97.7%	1,673	98.4%	6,021	97.4%	6,096
	松 城	81.7%	3,468	92.3%	2,320	88.6%	942	92.5%	3,369	85.2%	3,350
	仲 井 真	97.6%	6,908	93.3%	3,685	98.8%	1,461	96.7%	5,051	91.2%	5,683
	金 城	98.3%	6,563	95.7%	3,741	97.6%	1,806	99.3%	6,847	99.7%	6,856
	石 嶺	89.4%	6,482	96.2%	4,249	94.3%	1,831	94.2%	6,025	91.1%	5,690
	合 計	95.5%	99,145	95.1%	57,136	95.2%	24,779	96.3%	88,715	94.5%	90,740

(学校夜間運動場利用状況)

学校名	R1		R2		R3		R4		R5	
	利用率	利用人数	利用率	利用人数	利用率	利用人数	利用率	利用人数	利用率	利用人数
那覇中	5.10%	171	3.43%	81	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0
首里中	17.01%	739	10.29%	360	1.33%	40	3.90%	210	4.92%	270
神原中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
金城中	26.87%	1,868	24.02%	1,080	22.00%	816	28.57%	1,732	17.38%	1,025
城北中	16.67%	903	13.73%	436	8.67%	244	15.58%	949	26.23%	1,714
石田中	19.39%	982	16.67%	721	9.33%	271	18.51%	1,122	14.47%	913
小禄中	13.61%	506	15.20%	462	2.67%	52	12.66%	584	0.98%	30
松島中	12.59%	659	7.35%	231	8.67%	222	6.98%	78	—	—
合 計	15.89%	5,828	12.96%	3,371	7.52%	1,645	12.80%	4,675	10.66%	3,952

● 公民館、公園などその他施設

市民のスポーツ・レクリエーション活動の場として、その他に公民館や、公園をはじめとする公共施設が活用されています。

公民館では、独自の講座として、ウォーキング講座や、空手体験講座等を開講している他、館内の会議室等を利用した個別のクラブ活動や同好会活動が活発に行われています。

公園では、漫湖公園や、新都心公園など、比較的規模の大きな公園内に、テニスコートや多目的運動広場、ゲートボール場などが設置されています。また、これらの主な施設の利用にあたっては、「公共施設予約システム」を利用し、空き状況の確認・予約を行うことができます。

市民アンケートによると、「地域におけるスポーツ推進のために那覇市に力を入れてほしい施策」として、第1位から3位までが「手軽にスポーツができる公園整備」（40.9%）、「ジョギングなどができる道路整備」（22.8%）、「各種スポーツ施設の整備」（20.2%）と、ハード面に関する要望が大きくなっています。

また「那覇市が管理するスポーツ施設に対する要望」の問いに対しても、「身近で利用できるよう施設数の増加」（53.4%）の回答が最も多く、身近で利用できるスポーツ施設整備、特に公園整備の要望が大きいです。

（P. 25～26 図）

<那覇市公民館等における利用可能施設（令和6年7月現在）>

館名	区分
那覇市中央公民館	ホール、会議室
那覇市牧志駅前ほしぞら公民館	ホール、第1学習室、第2学習室、第3学習室、第4学習室、実習室、パソコン室、工作室、和室
那覇市小禄南公民館	ホール、中研修室、視聴覚室、和室、小会議室A、小会議室B、児童図書室、実習室、団体連絡室
那覇市首里公民館	ホール、視聴覚室、会議室、中会議室、児童室、展示室、和室、調理室、団体室
那覇市若狭公民館	ホール、第1研修室、第2研修室、第3研修室、実習室、和室
那覇市石嶺公民館	ホール、第1学習室、第2学習室、実習室、和室
那覇市繁多川公民館	ホール、研修室1、研修室2、実習室、和室
那覇市人材育成支援センター まーいまーい Naha	ホール、スタジオ、研修室1・2、学習室1・2、講師控室、和室、調理実習室、会議室

※【利用申し込み方法】各公民館に問い合わせを行う。

<那覇市の公園緑地（那覇市管理）（令和6(2024)年4月現在）>

区分	種類	種別	供用開始（開園）	
			箇所	面積（ha）
基幹公園	住区基幹公園	街区公園	134	19.13
		近隣公園	19	28.42
		地区公園	3	10.14
		計	156	57.69
	都市基幹公園	総合公園	5	81.75
特殊公園		霊園	1	3.92
緑地		都市緑地	6	3.88
合計			168	147.24

<那覇市公園一覧表（令和6(2024)年4月現在）>

◆街区公園

街区公園とは、主として街区に居住する者の利用に供することを目的とする公園で、那覇市では134箇所19.13ヘクタールが開園しています。

（街区公園のうち健康遊具を設置している公園）

公園名	地番	面積（ha）	主要施設 ¹
大道森公園	字大道 22 番 5 号	0.36	遊 健 便
安謝東公園	安謝 1 丁目 22 番	0.08	健 便
久茂地公園	久茂地 2 丁目 16 番 7 号	0.01	遊 健
具志宮城南公園	具志 3 丁目 35 番 1 号	0.19	遊 健
具志宮城北公園	宮城 1 丁目 279 番 5 号	0.15	健 便
古島中公園	古島 2 丁目 9 番 1 号	0.2	遊 健 便
高良あおぞら公園	高良 3 丁目 5 番 3 号	0.16	遊 健 便
山川西公園	首里山川町 1 丁目 144 番 2 号	0.03	遊 健
小禄星空公園	小禄 5 丁目 5 番 1 号	0.22	遊 健 便
松川公園	松川 1 丁目 260 番 11 号	0.09	健
新屋敷公園	泊 3 丁目 12 番 10 号	0.05	遊 健
前島東公園	前島 1 丁目 15 番 5 号	0.02	遊 健
前島北公園	前島 3 丁目 20 番	0.05	遊 健
汀良公園	首里汀良町 1 丁目 42 番	0.14	健
東町南公園	東町 12 番 6 号	0.04	遊 健
東町北公園	東町 9 番 8 号	0.03	遊 健

¹ 主要施設記号 遊：遊具／健：健康遊具／テ：テニスコート／ジ：ジョギングコース／ミ：ミスト／便：便所／駐：駐車場

公園名	地番	面積 (ha)	主要施設
泊南公園	泊 1 丁目 25 番 10 号	0.02	遊 健
末吉西公園	古島 1 丁目 28 番 3 号	0.34	遊 健 便
宇栄原公園	宇栄原 6 丁目 9 号	0.53	遊 健 便
真嘉比西公園	真嘉比 2 丁目 7 番	0.2	遊 健 便
真嘉比東公園	松島 1 丁目 5 番	0.12	遊 健 便
国場川くねくね公園	字上間 550 番 5 号	0.43	遊 健 便
山下町第一洞穴遺跡公園	山下町 174 番 1 号	0.09	遊 健 便
はちまんむい公園	安里 3 丁目	0.52	遊 健 便

◆近隣公園

近隣公園とは、主として近隣に居住する者の利用に供することを目的とする公園で、那覇市では 19 箇所 28.42 ヘクタールが開園しています。

(近隣公園一覧表)

公園名	地番	面積 (ha)	主要施設
城岳公園	楚辺 1 丁目 168 番	0.89	遊 便
松尾公園	松尾 2 丁目 59 番	1.11	遊 健 便
希望ヶ丘公園	牧志 3 丁目 116 番 5 号	0.76	遊 便
与儀公園	寄宮 1 丁目 1 番 1 号	2.67	遊 健 便
虎頭公園	首里赤平町 2 丁目 68 番	0.82	遊 便
繁多川公園	繁多川 4 丁目 548 番	1.59	遊 便
中央公園	樋川 1 丁目 377 番 4 号	1.48	遊 テ 便
森口公園	字小禄 1127 番	0.58	便
松山公園 (福州園)	松山 2 丁目 17 番 2 号	4.92(0.85)	遊 健 テ 便 駐
若狭公園	若狭 3 丁目 19 番	1.67	遊 健 テ 便
高前原公園	高良 2 丁目 77 番	1.11	遊 便
がじゃんびら公園	金城 1 丁目 4 番 1 号	1.70	便
小禄金城公園	金城 3 丁目 2 番 1 号	2.00	遊 便
田原公園	田原 3 丁目 4 番 1 号	1.30	遊 便
真嘉比中央公園	真嘉比 3 丁目 16 番	1.05	遊 健 便 ジ 駐
首里崎山公園	首里崎山町 1 丁目 39 番	1.44	遊 便
久場川公園	首里石嶺町 2 丁目 31 番 1 号	0.31	
天久ちゅらまち公園	天久 2 丁目 32 番 1 号	1.50	便

公園名	地番	面積 (ha)	主要施設
黄金森公園	おもろまち2丁目7番1号	1.50	遊 健 便

◆地区公園

地区公園とは、主として徒歩圏内に居住する者の利用に供することを目的とする公園で、那覇市では3箇所10.14ヘクタールが開園しています。

(地区公園一覧表)

公園名	地番	面積 (ha)	主要施設
大石公園	識名1丁目663番	4.10	遊 健 テ 便 駐
弁ヶ岳公園	首里鳥堀町4丁目121番	4.20	便
緑ヶ丘公園	牧志1丁目16番	1.84	遊 便

◆総合公園

総合公園とは、都市住民全般の休息、観賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供することを目的とする公園で、那覇市では5箇所81.75ヘクタールが開園しています。

(総合公園一覧表)

公園名	地番	面積 (ha)	主要施設
旭ヶ丘公園	若狭1丁目24番1号	3.11	遊 便
末吉公園	首里末吉町1丁目3番1号	8.45	遊 健 便 駐
識名公園	字識名1226番	8.40	便 駐
漫湖公園	古波蔵3丁目、 鏡原町37番1号	43.94	遊 テ ジ 便 駐
新都心公園	おもろまち3丁目2番1号	17.85	遊 健 テ ジ ミ 便 駐

◆霊園・その他

識名霊園は那覇市唯一の霊園でグランドゴルフ等ができる広場等もあり、市民の憩いの場として利用されています。また、その他、緑地などがあります。

(霊園・その他一覧表)

公園名	地番	面積 (ha)	主要施設
識名霊園	識名2丁目240番1号	3.92	便
	識名2丁目448番		
辻・若狭緑地	辻2丁目30番1号	0.27	
西新緑地	西3丁目8番2号	0.05	

公園名	地番	面積 (ha)	主要施設
安謝緑地	曙 3 丁目 200 番 1 号	0.79	便
寒川緑地	首里寒川町 1 丁目 83 番 1 号	0.85	便
赤嶺緑地	赤嶺 1 丁目 14 番 1 号	1.26	便
安里緑地	おもろまち 1 丁目 6 番	0.66	便
石嶺記念児童遊園	首里石嶺町 4 丁目 392 番	0.24	遊 便
壺川東緑地	壺川 1 丁目 14 番 5 号	0.35	便
田原緑地	田原 1 丁目 12 番 1 号	0.20	
ハーゲラ緑地	高良 3 丁目 18 番 2 号、3 号	0.04	
松島緑地	松島 2 丁目 100 番 21 号	0.02	
末吉緑地	首里末吉町 4 丁目 100 番 19 号、20 号	0.06	
真嘉比遊水地	字古島 354 番	2.65	便
壺川緑地	壺川 1 丁目 584 番	0.01	
城南タウン緑地	首里鳥堀町 5 丁目	0.13	
古波蔵公園	古波蔵 2 丁目 39 番、39 番 1 号	0.09	遊

＜ちゅらティーダスポーツ広場＞

ちゅらティーダスポーツ広場は、南風原町大名地区にある那覇市の一般廃棄物最終処分場を多目的広場として整備したもので、平成 24(2012)年度にオープンし、一般用のサッカーコート 1 面、ジュニア用 2 面、そのほかフットサル、野球、グランドゴルフなどにも対応できる芝生の広場となっています。児童生徒や一般市民が有料で利用することができます。(小・中・高生：500 円、一般・大学生：1,000 円 ※減免措置あり)

【お問い合わせ先：クリーン推進課】

※令和 6 年 4 月 30 日より当面の間、当該施設の利用を休止しています。

＜公共施設予約システムで利用できる公園等の施設（令和 7(2025)年 1 月現在）＞

公園名	施設名	サービス	お問い合わせ先
新都心公園、漫湖公園（古波蔵側）、松山公園、中央公園、若狭公園、大石公園	テニスコート (公園内)	空き状況照会 ／予約	公園管理課又は 指定管理者
漫湖公園、真嘉比遊水地多目的広場（中池広場・下池広場）、新都心公園多目的広場	多目的広場 (公園内)	空き状況照会 ／予約	公園管理課又は 指定管理者
漫湖公園（鏡原側）	テニスコート (公園内)	空き状況照会 ／予約	漫湖公園 市民庭球場
首里中学校、金城中学校、城北中学校、石田中学校、小禄中学校、 ※那覇中学校、松島中学校、神原中学校 については利用を一時停止しています。	中学校 夜間運動場	空き状況照会 ／予約	市民スポーツ課
那覇市民体育館	館内施設	空き状況照会 ／予約	那覇市市民体育館
沖縄セルラースタジアム那覇	館内施設	空き状況照会 ／予約	沖縄セルラースタジアム那覇
沖縄セルラーパーク那覇	館内施設	空き状況照会 ／予約	沖縄セルラースタジアム那覇

2. 市民のスポーツへの取組状況と市に対する要望（計画策定時のアンケート調査より）

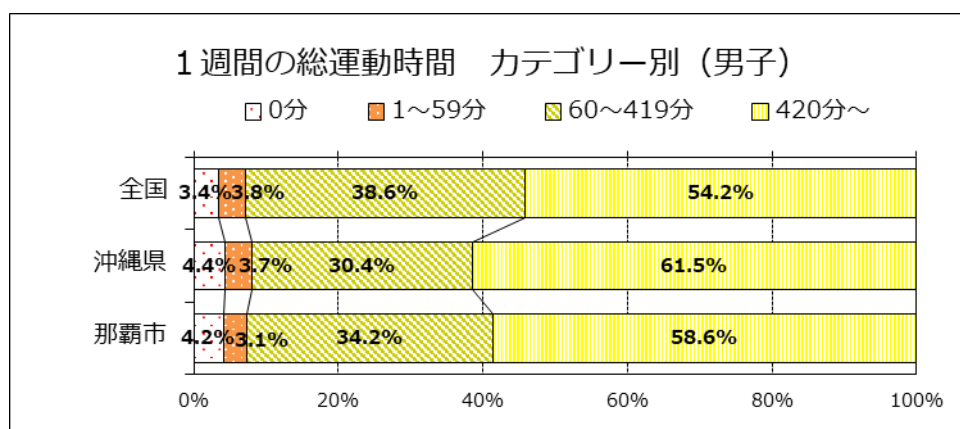
● 児童・生徒（小学生・中学生）

平成 30(2018)年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果によると、1 週間のうち、学校の体育の授業以外で運動やスポーツを実施している人は、小学生男子が 95.8%、小学生女子が 93.6%、中学生男子が 92.7%、中学生女子が 83.1%となっています。一方、学校の体育の授業以外で全く運動をしていない人の割合は、小学生男子が 4.2%、小学生女子が 6.4%、中学生男子が 7.3%、中学生女子が 16.9%となっており、運動やスポーツに積極的に取り組む児童・生徒が多数である一方で、そうでない児童・生徒も一定数存在し、特に女子において、小学校から中学校にかけてその割合が増加する傾向があります。

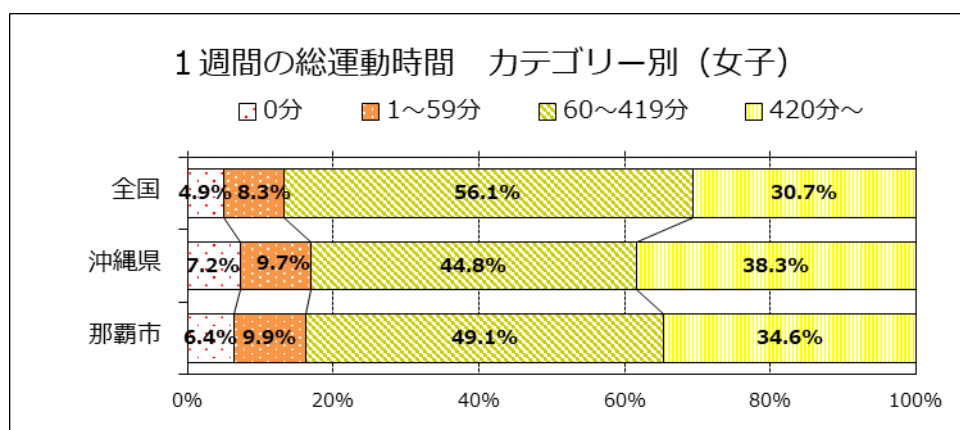
さらに、中学生の 1 週間の総運動時間において、運動している生徒とそうでない生徒との二極化が顕著となっている傾向が見てとれます（資料編 P. 78）。

<1 週間の総運動時間>

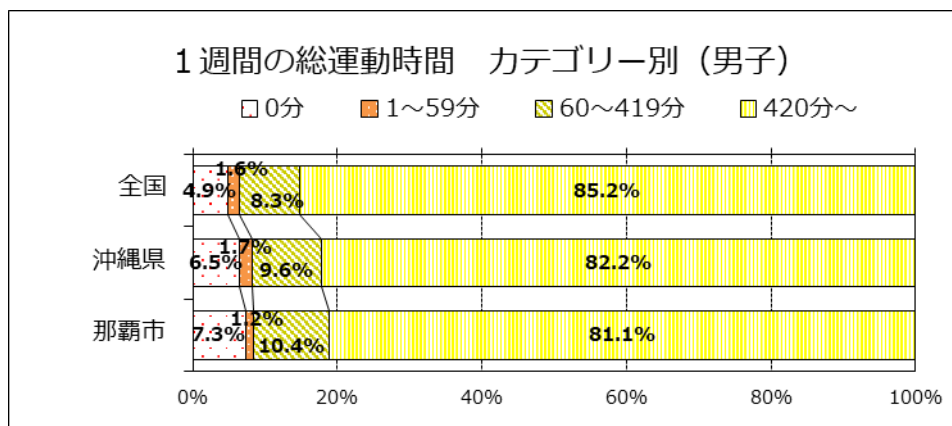
（小学生男子）



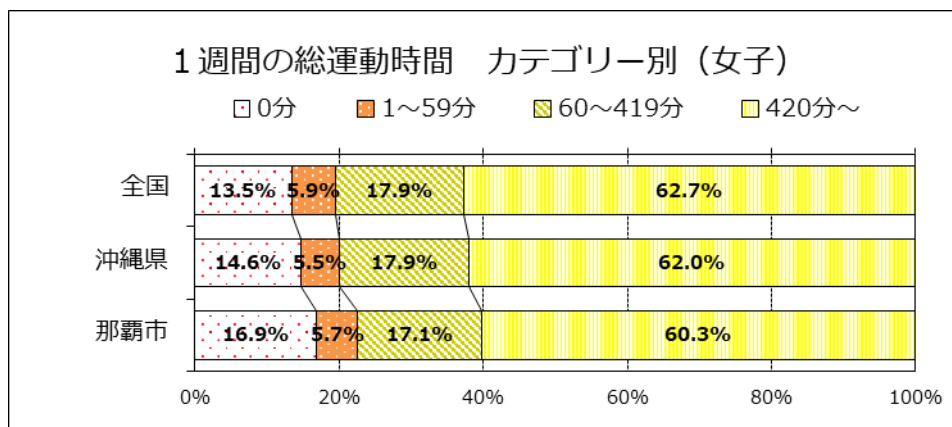
（小学生女子）



(中学生男子)



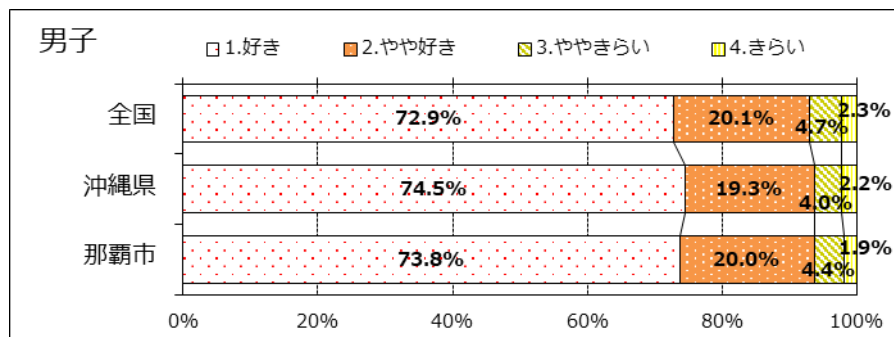
(中学生女子)



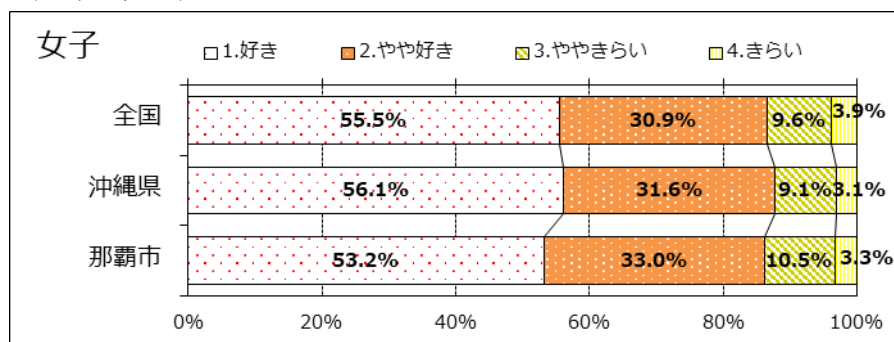
国の「第2期スポーツ基本計画」では、2017(平成29)年度から2022年度までの5年間で、運動やスポーツが嫌い、やや嫌いである中学生を8%にすることを目標に掲げられています。一方で、那覇市内の中学生のうち、運動やスポーツが嫌い、やや嫌いと回答した人は、中学生男子が11.0%、中学生女子が18.9%、となっており、現時点では、国の目指す値にないことが分かります。運動をしない児童・生徒が運動やスポーツにより親しんでもらうことのできるような方策が求められています。

<運動やスポーツが好きか>

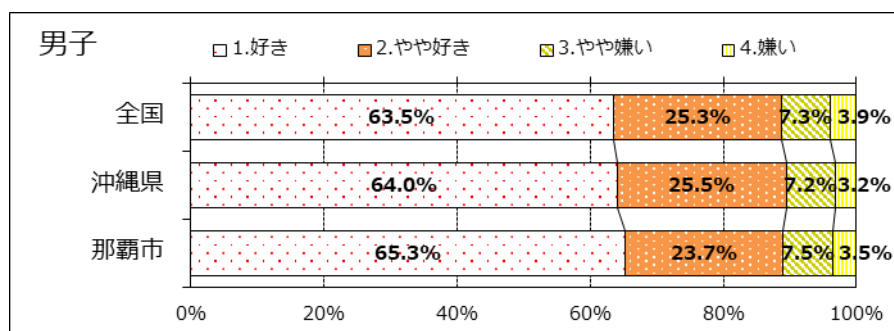
(小学生男子)



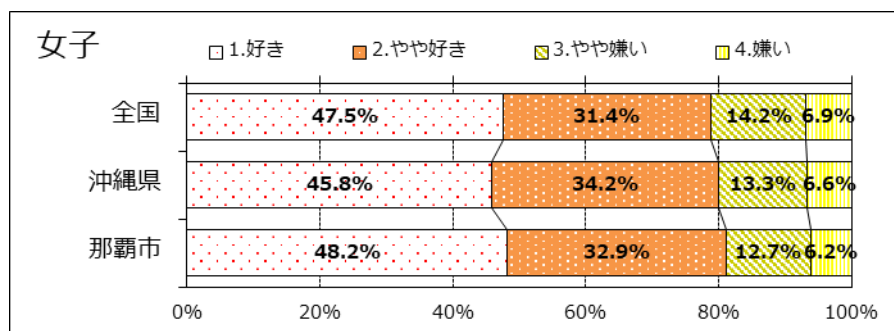
(小学生女子)



(中学生男子)



(中学生女子)



一方で、運動やスポーツに積極的に取り組んでいる児童・生徒についても、課題が明らかとなりました。

近年のスポーツ医・科学の研究により、過度の練習はスポーツ障害・外傷のリスクを高めるだけではなく、必ずしも体力・運動能力の向上につながらないことが明らかになってきています。このような研究を受け、スポーツ庁は、平成 30(2018)年 3 月に「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を公表、部活動の平日の活動時間を 2 時間以内、休業日の活動時間を 3 時間以内に収めること、また部活動の休養日を週 2 日程度設けること、などの方針を示しました。

しかしながら、那覇市内の小学校・中学校・高校に通う児童・生徒を対象に、平成 30(2018)年 9 月～10 月にかけ、実施したアンケート調査結果からは、那覇市内の児童・生徒が長時間にわたり、休養日を設けず運動をしているケースが一定程度存在することが明らかになりました。

過度な運動によるスポーツ障害・外傷等を防ぎ、成長期にある児童・生徒が、運動、食事、休養及び睡眠のバランスのとれた生活を送ることができるよう、スポーツ庁ガイドラインにのっとり、運動部活動の活動時間及び休養日の設定その他適切な運動部活動やスポーツ少年団の取組を定めた「那覇市運動部活動等の在り方に関する方針」を令和元年 6 月に策定しました。

<運動やスポーツへの取組時間数>

(中学生)

1 週間毎日運動している人の割合：34%

平日の活動時間が 2 時間を超えているケース：約 25%

休業日の活動時間が 3 時間を超えるケース：20%～25%

月曜			火曜			水曜			木曜		
時間	人数	%	時間	人数	%	時間	人数	%	時間	人数	%
練習なし	57	17.8%	練習なし	33	10.3%	練習なし	115	35.9%	練習なし	30	9.4%
60分以内	10	3.1%	60分以内	22	6.9%	60分以内	12	3.8%	60分以内	17	5.3%
61分～90分以内	23	7.2%	61分～90分以内	3	0.9%	61分～90分以内	15	4.7%	61分～90分以内	26	8.1%
91分～120分以内	147	45.9%	91分～120分以内	166	51.9%	91分～120分以内	106	33.1%	91分～120分以内	163	50.9%
121分～180分以内	75	23.4%	121分～180分以内	76	23.8%	121分～180分以内	69	21.6%	121分～180分以内	78	24.4%
181分以上	8	2.5%	181分以上	20	6.3%	181分以上	3	0.9%	181分以上	6	1.9%

金曜			土曜			日曜		
時間	人数	%	時間	人数	%	時間	人数	%
練習なし	29	9.1%	練習なし	14	4.4%	練習なし	99	30.9%
60分以内	12	3.8%	60分以内	8	2.5%	60分以内	9	2.8%
61分～90分以内	21	6.6%	61分～120分以内	61	19.1%	61分～120分以内	40	12.5%
91分～120分以内	165	51.6%	121分～180分以内	147	45.9%	121分～180分以内	103	32.2%
121分～180分以内	86	26.9%	181分～240分以内	55	17.2%	181分～240分以内	39	12.2%
181分以上	7	2.2%	241分～300分以内	17	5.3%	241分～300分以内	9	2.8%
			301分～360分以内	9	2.8%	301分～360分以内	8	2.5%
			361分以上	9	2.8%	361分以上	13	4.1%

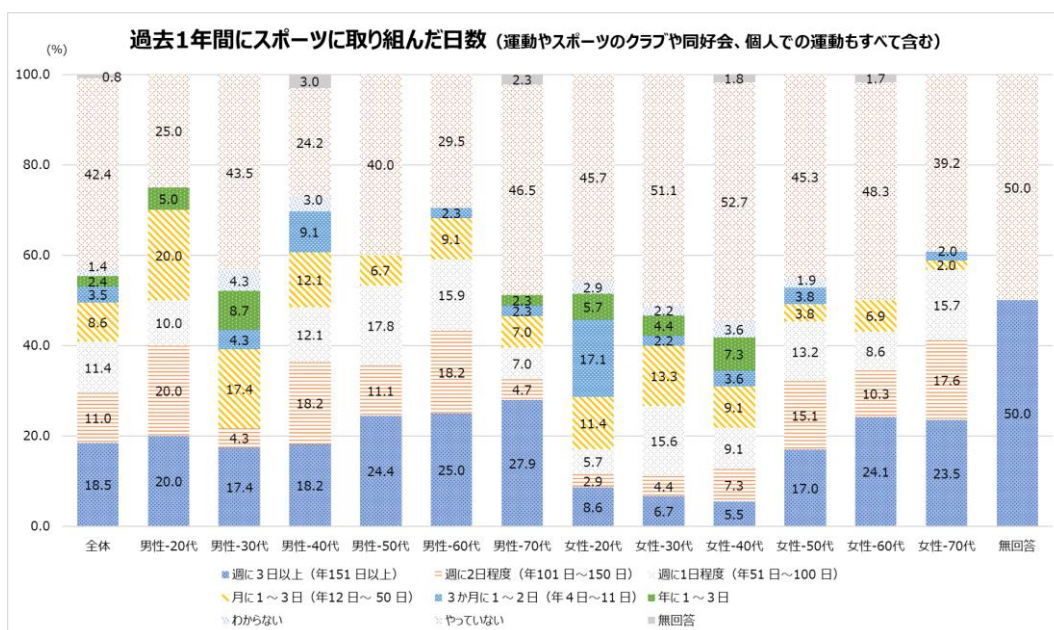
● 成人

那覇市内の児童・生徒と同様、那覇市民を対象に、アンケート調査を実施しました。

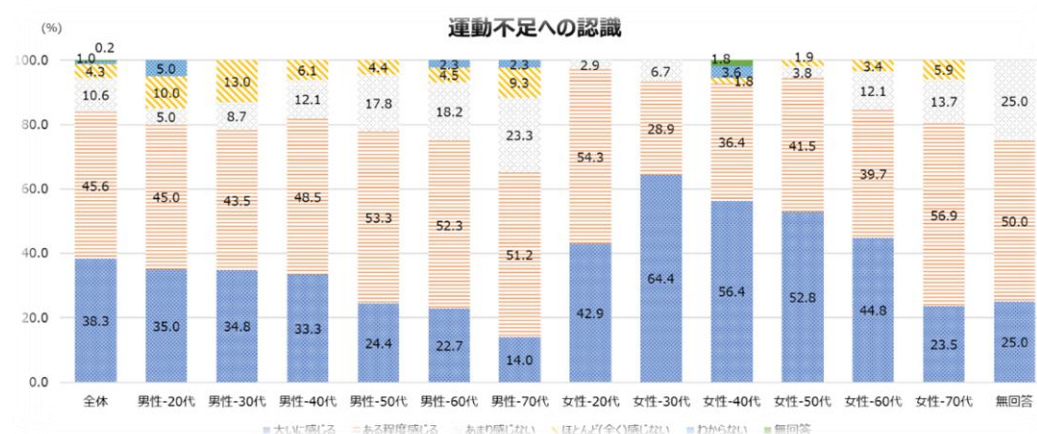
その結果、市民の8割以上が運動不足を大いに感じる、ある程度感じると回答しているにもかかわらず、那覇市民のスポーツ実施率（過去1年間にスポーツに週1回以上取り組んだ人の割合）は、40.9%と、半数以下に留まっていることが明らかになりました。

なお、この数値は、国全体におけるスポーツ実施率51.5%²には及ばないものの、沖縄県におけるスポーツ実施率37.0%³を超えるものとなっています。また、「第2期スポーツ基本計画」で示されたスポーツ実施率の目標は65%となっており、目標に向けての対策が求められています。

<那覇市民のスポーツ実施率>



<運動不足への認識>

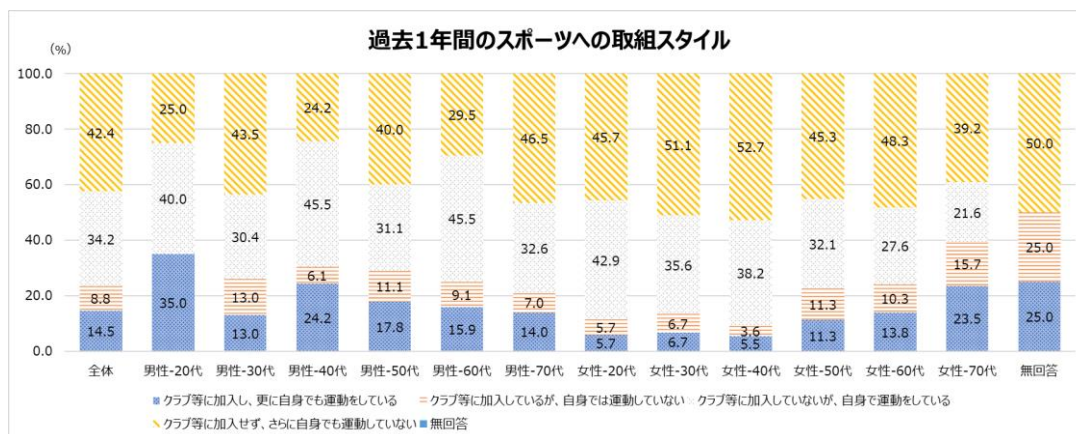


² 平成 29(2017)年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」

³ 平成 29(2017)年度「県民の体力・スポーツに関する意識調査報告書」

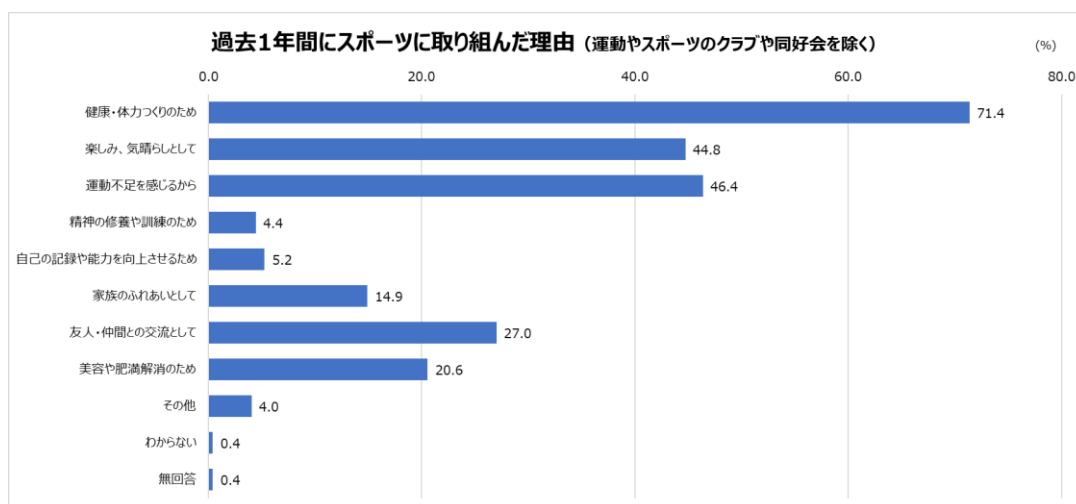
那覇市民のスポーツへの取組スタイルは、多くの世代で「クラブ等に参加せず、自身で運動をしている」が多くなっています。個人で取り組んでいるスポーツの種目は、「ウォーキング」が最も多く、続いて「体操」、「ジョギング、ランニング」となっています。個人のライフスタイルに合わせ、都合が合うタイミングで、器具や場所の有無を問わず取り組めるスポーツ・レクリエーションに取り組んでいると考えられます。

＜那覇市民のスポーツへの取組スタイル＞

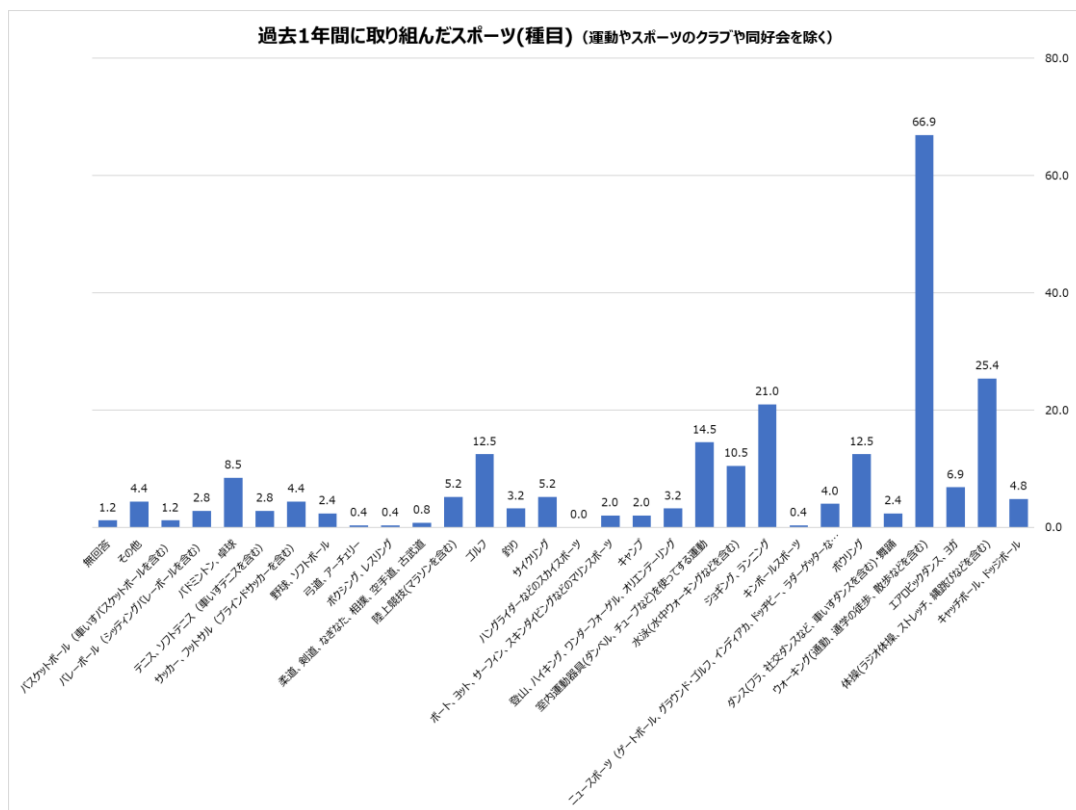


スポーツに取り組んでいる理由としては、「健康・体力づくりのため」が 71.4%と最も多く、近年の健康意識の高まりがスポーツの実施につながっていると考えられます。

＜個人でスポーツに取り組んだ理由＞



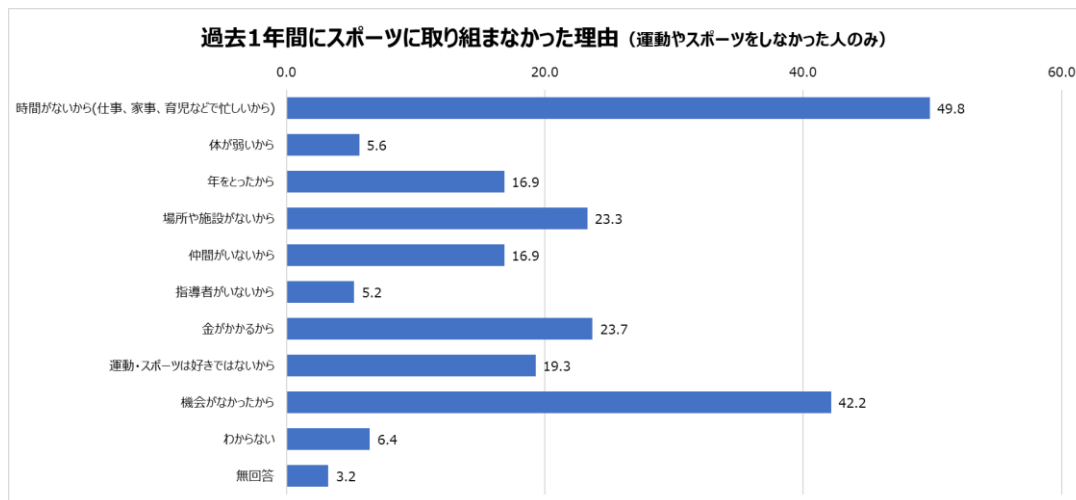
＜過去1年間に個人で取り組んだスポーツ種目＞



スポーツ実施率の内訳をみると、男性 30 代、女性の 20 代～40 代が週 1 回以上、スポーツをした人の割合が 30%以下となっており、働き盛りの世代のスポーツ実施率に課題があると考えられます。これらの世代のスポーツに取り組まなかった最も大きな理由として、「時間がないから(仕事、家事、育児などで忙しいから)」が挙げられます。また、単純に「運動の機会がなかったから」と回答した人も多く、運動不足を感じつつも、忙しくて、スポーツをする時間の取れない世代に対する環境整備が必要であり、スポーツ・レクリエーションの機会が増えることで、スポーツに取り組むきっかけにつながる可以考虑。

一方で、高齢者は、働き盛りの世代と比較し、スポーツ実施率は高いものの、運動やスポーツをしなかった場合の理由として「年をとったから」と回答する割合も高くなっています。高齢者でも取り組みやすいスポーツ・レクリエーションの機会提供が求められています。

＜スポーツに取り組まなかった理由＞



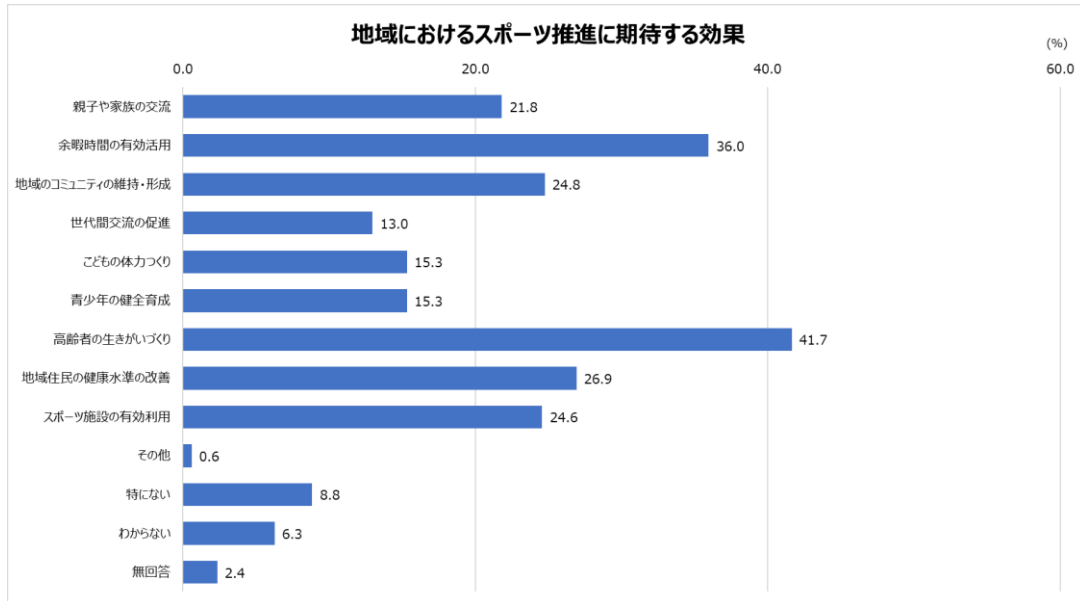
そのような中で、市民が那覇市のスポーツ推進に期待する効果は、「高齢者の生きがいづくり」や「余暇時間の有効活用」、「地域住民の健康水準の改善」となっています。

具体的な施策としては、「手軽にスポーツができる公園整備」、「ジョギングなどができる道路整備」、「各種スポーツ施設の整備」など、スポーツ施設整備に関する要望が挙げられています。

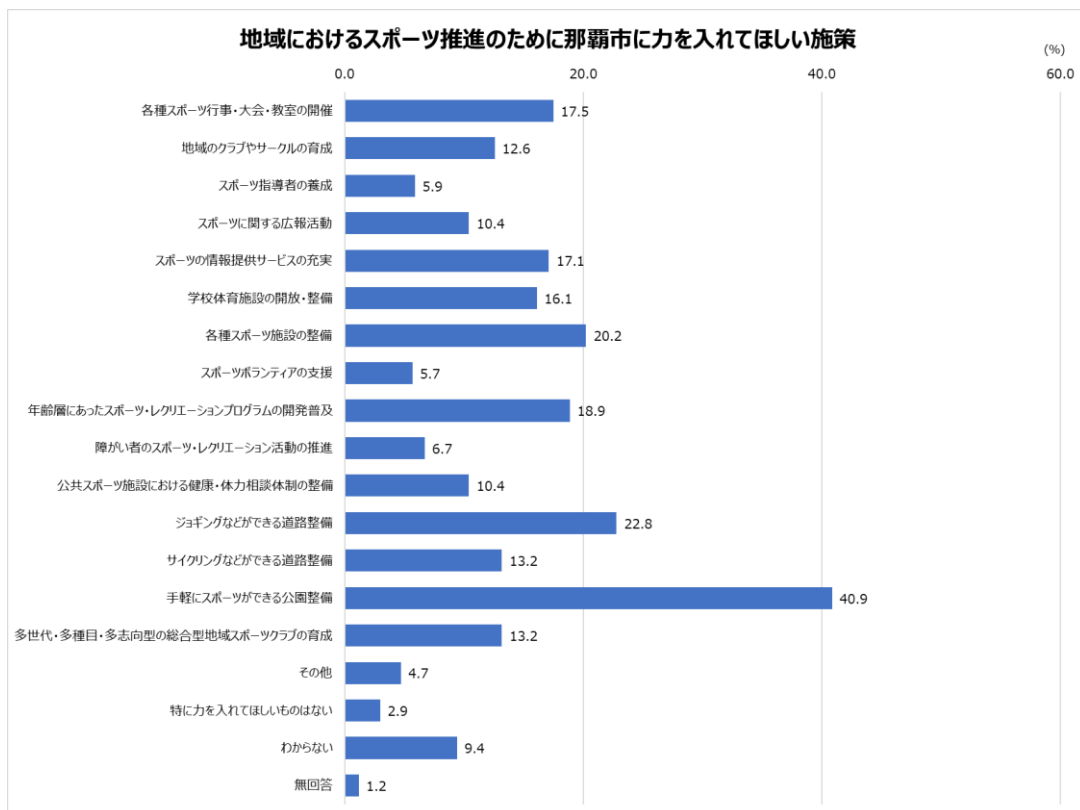
スポーツ施設については、他にも、「身近で利用できるよう施設数の増加」、「利用時間帯の拡大」、「利用手続き、料金の支払い方法などの簡略化」などの要望も多く挙げられ、より身近で気軽に利用できる那覇市が管理するスポーツ施設の利用方法や手続きに関する情報が十分に市民に届いておらず、多様化する市民のスポーツ・レクリエーション活動と、施設の運用に開きがあるなどの課題があることが想定されます。市民のニーズに合った施設の運用、利用手続きの整備、情報発信についての対策が求められています。また、「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実」や、「高齢者や障がい者に配慮した施設・設備の整備」にも期待が寄せられています。

スポーツ指導者については、「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」、「健康・体力づくりのための運動やスポーツのプログラムの作成・指導ができる人」へのニーズが高まっています。

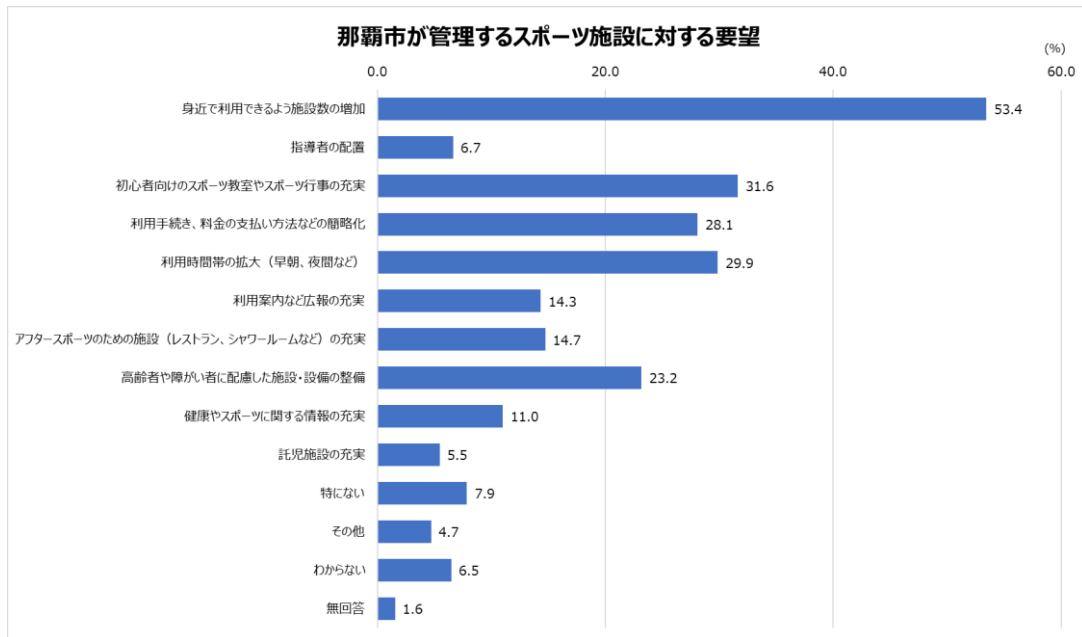
<スポーツ推進に期待する効果>



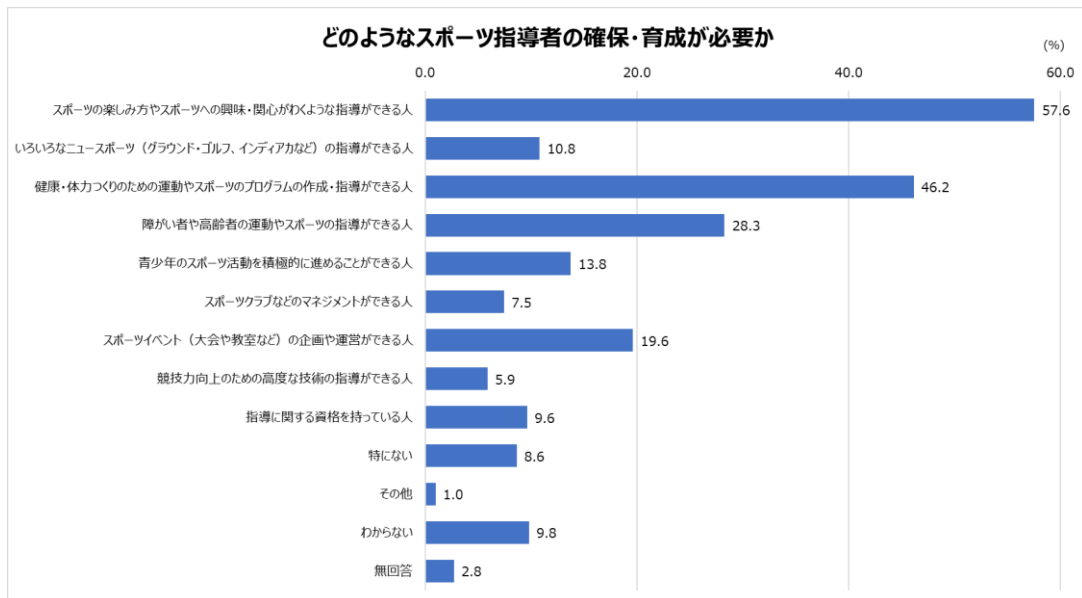
<那覇市に力を入れてほしい施策>



<スポーツ施設に対する要望>

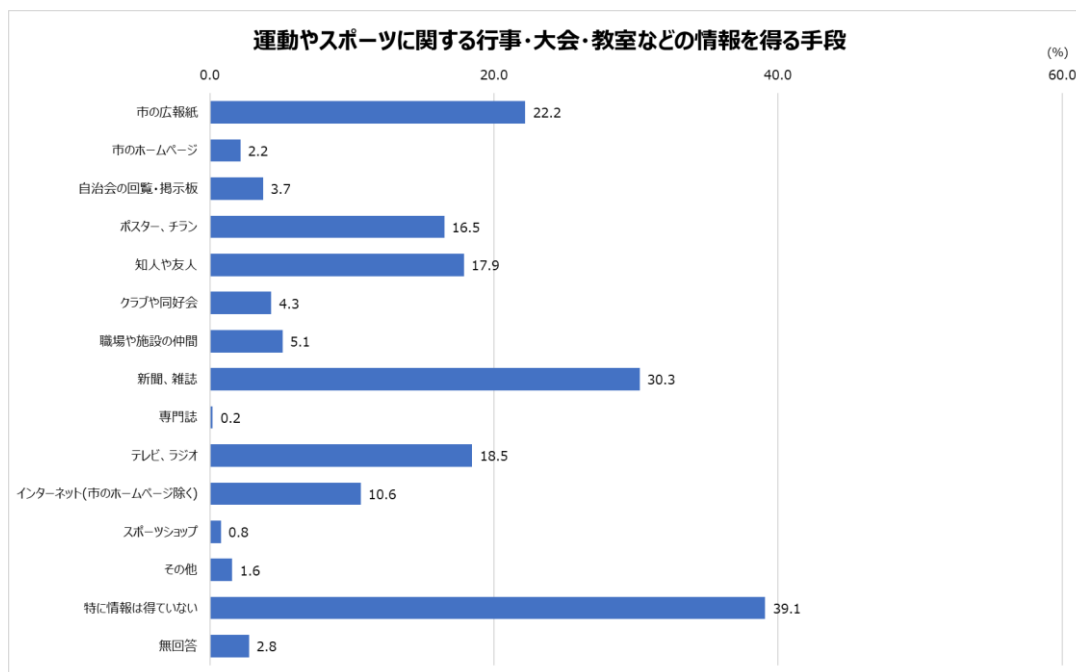


<スポーツ指導者に対する要望>



スポーツに関する情報は、「市の広報誌」や「新聞、雑誌」からの情報の取得が多くなっています。しかしながら、「特に情報は得ていない」と回答している人が最も多く、市民に関心を持ってもらうための情報発信のあり方について、検討が必要です。

＜スポーツに関する情報を得る手段＞



3. スポーツへの取組を支援する組織・団体・指導者

● 特定非営利活動法人那覇市体育協会(スポーツ競技団体・スポーツ少年団)

那覇市体育協会は、那覇市民の健康・体力づくりを推進し、スポーツ精神を培い、スポーツ・レクリエーションの普及・振興を図り、那覇市の体育文化の発展に寄与することを目的として設立・運営されている団体です。

令和6(2024)年度現在、那覇市営奥武山野球場をはじめとする体育施設、那覇市民体育館、漫湖公園市民庭球場、那覇市民首里石嶺プールなど、多くの公共体育施設の指定管理を担っている他、指定管理施設を利用したスポーツ教室の運営を通じて、那覇市民へスポーツ・レクリエーションの機会を提供しています。

また、26 の競技団体が加盟するスポーツ競技団体の統括組織として、各種競技大会の運営や実施の支援と併せ、各種競技大会の上位入賞者等を、那覇市代表として、沖縄県民体育大会へ派遣するなど、競技スポーツの推進に取り組んでいます。

<那覇市体育協会 加盟団体(令和6(2024)年度)>

那覇市陸上競技協会	那覇市グラウンドゴルフ協会
那覇市バレーボール協会	那覇市ウォーキング協会
那覇市ソフトテニス連盟	那覇市キンボールスポーツ協会
那覇市卓球連盟	那覇市ゴルフ協会
那覇市剣道連盟	那覇市バスケットボール協会
那覇市バドミントン協会	那覇市ハンドボール部
那覇市サッカー協会	那覇市フェンシング部
那覇市テニス協会	那覇市相撲部
那覇市ラグビーフットボール連盟	那覇市ウェイトリフティング部
那覇市ボウリング協会	那覇市柔道部
那覇市空手道連盟	那覇市アーチェリー部
那覇市空手古武道連合会	那覇市ソフトボール部
那覇市水泳協会	那覇市軟式野球部

さらに、那覇市スポーツ少年団として、市内の小学生約3,500名が活動する、140前後の単位団の運営統括に加え、取り組んでいる競技の枠を超えて、単位団が交流をする交流大会等を積極的に実施しています。

しかしながら、スポーツ競技団体やスポーツ少年団においては、組織の運営負担が大きいこと、運営の財源不足などから、役員の成り手の不足、組織への新規加入者の減少、スポーツ指導に関する専門的な知識を有する指導者の不足等の課題も明らかになっています。そのため、那覇市体育協会においては、今後は、指定管理施設の管理運営費の効率化、利用者の増加による利用料収入の増加等によって、収益性の改善を図ることにより、競技団体の

運営支援強化に取り組んでいくことを目指しています。さらに、スポーツ教室の開催数の増加を行うことで、より市民がスポーツ・レクリエーションに親しむための機会も提供し、競技スポーツだけではなく、生涯スポーツの推進を図っていくとしています。

● 総合型地域スポーツクラブ・地域スポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブは、人々が、身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、子供から高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブです。

地域住民へスポーツ・レクリエーションの機会を提供していく手法として、今後大きく期待することができるモデルであると考えられます。令和 4 年度からは、より公益性の高い「社会的な仕組み」として永続的に充実した活動を行えるよう、登録・認証制度が導入されています。

令和 6 年 6 月現在、那覇市においては総合型地域スポーツクラブの設立はなく、地域スポーツクラブ（登録認証制度に登録していない地域スポーツクラブ）として 5 クラブが活動しています。

<那覇市内で活動する地域スポーツクラブ一覧>

No	クラブ	設立年
1	奥武山相撲スポーツクラブ	2002
2	那覇新都心ゆいスポーツ・文化クラブ	2008
3	ヴィクサーレススポーツクラブ	－
4	一般社団法人アスリート工房	2015
5	那覇チャンバラススポーツクラブ	2012

● スポーツ推進委員

那覇市では、市民の身近な場所で、生涯にわたってスポーツを楽しめるまちづくりの推進を図るために、スポーツ推進委員を市の非常勤職員として委嘱しています。地域スポーツ教室の開催、地域や PTA 等で開催される行事でのスポーツ指導、市主催のスポーツ大会の運営・審判などの活動を行っています。

<令和 5(2023)年度地域スポーツ教室>

地区	内容	開催日等	場 所
那覇 A	楽しもう！空手とニュースポーツ	10/7（土）、10/14（土）、 10/21（土）、10/28（土） 全 4 回 2 時間程度	牧志駅前ほしぞら 図書館
那覇 B	ニュースポーツ体験 ～誰でも参加できるニュースポーツを体験しよう～	10/14（土）、10/15（日） 11/4（土）、11/5（日） 全 4 回 2 時間程度	泊小体育館 天久小体育館
真和志 A	エンジョイ！ニュースポーツ&ウォーキング	9/17（日）、10/21（土）、 10/28（土）、11/4（土） 全 4 回 2 時間程度	新都心公園 真嘉比小体育館
真和志 B	ニュースポーツ	5/27（土）、6/4（日）、 6/11（日）、7/2（日） 7/9（日） 全 5 回 2 時間程度	真和志小体育館 繁多川公民館
小禄	ストレッチポールで からだリセット&軽スポーツ	9/12（火）、9/19（火）、 9/26（火） 全 3 回 2 時間程度	沖縄セルラースタ ジアム那覇
首里	いきいき健康！スポーツ 教室 2023（ストレッチ・ エクササイズ）	10/4（水）、10/11（水） 10/18（水）、10/25（水） 全 4 回 2 時間程度	石嶺公民館
	末吉森たんけんウォーキング	2/18（日） 全 1 回 3 時間程度	末吉公園

しかしながら近年、特に若年層において、全国的に担い手が不足している現状があります。那覇市においても、令和 6（2024）年度現在、活動しているスポーツ推進委員は 20 名で、定員 53 名に対し、充足率が約 38%に留まっています。

また、従来の活動は、教育委員会が関係する、学校や地域、PTA 等で開催される行事での

スポーツ指導が中心であったものの、近年、福祉・介護等の分野においてスポーツ・レクリエーションの取組が進んでいることから、那覇市全体として、市のスポーツ・レクリエーションに関連するイベントでのスポーツ推進委員の活用を積極的に進めていく必要があります。

● スポーツ指導者等

日本スポーツ協会や、日本障がい者スポーツ協会等が認定するスポーツ指導資格は、以下のとおりとなっており、沖縄県内でも資格保有者が一定数存在しています。

しかしながら、スポーツ少年団の指導者や運動部活動に関わる教員や外部指導員等の中で、スポーツ指導者に関する資格を保有していない人がいる、障がい者がスポーツをするにあたり、障がい者スポーツ指導員の確保が困難、などの声も関係するスポーツ団体から寄せられており、引き続き、スポーツ指導に関する資格保有者の育成・確保、資質の向上に取り組んでいく必要があります。

<公認スポーツ指導者 登録者数（令和5（2023）年10月現在）>

資格名		全国	沖縄県
スポーツ指導基礎資格	スポーツリーダー	433,226	(データなし)
	スポーツコーチングリーダー	32,538	296
競技別指導者資格	スタートコーチ (スポーツ少年団)	18,995	462
	スタートコーチ (教員免許状所持者)	759	7
	スタートコーチ (競技別)	5,235	135
	コーチ 1	122,275	1,704
	コーチ 2	10,298	89
	コーチ 3	26,280	346
	コーチ 4	7,220	63
	教師	2,624	14
	上級教師	920	8
メディカル・ コンディショニング資格	スポーツドクター	6,510	68
	スポーツデンティスト	727	9
	アスレティックトレーナー	5,298	34
	スポーツ栄養士	522	4
フィットネス資格	フィットネストレーナー	415	3
	スポーツプログラマー	3,086	20
	ジュニアスポーツ指導員	4,584	49
マネジメント資格	アシスタントマネージャー	5,859	57
	クラブマネージャー	380	1

資格名		全国	沖縄県
旧資格	スポーツトレーナー1 級	15	0
	スポーツトレーナー2 級	38	1
合計		687, 804	3, 370

<障がい者スポーツ指導員（令和6(2024)年6月現在）>

資格名	全国	沖縄県
初級障がい者スポーツ指導員	19, 606	166
中級障がい者スポーツ指導員	4, 124	39
上級障がい者スポーツ指導員	837	7
障がい者スポーツコーチ	223	2
障がい者スポーツ医	642	7
障がい者スポーツトレーナー	268	5
合計	25, 708	226

- 一般社団法人那覇市身体障害者福祉協会

那覇市身体障害者福祉協会では、那覇市障がい者運動会の企画・運営、沖縄県身体障害者スポーツ大会への選手派遣を行っています。

那覇市障がい者運動会は、那覇市の身体・知的・精神の障がい者とその家族、ボランティア等の関係者が一堂に集い、スポーツ・レクリエーションを通して、障がい者の体力増強、交流促進等を図ることを目的に年に1回、実施されています。過去30年以上にわたって継続して実施されていることから、関係者内での認知も高く、参加者数も安定しています。

しかしながら、市内で障がい者スポーツに取り組んでいる人は、ごく少数に留まっています。障がい者がよりスポーツに取り組める環境づくりのために、那覇市障がい者運動会のような、障がい者がスポーツ・レクリエーションに取り組む機会を増やしていくことが求められています。

4. 那覇市が主催する主要なスポーツイベント・教室

那覇市が主催する主要なスポーツイベントは、以下のとおりです。いずれのスポーツイベントについても、毎年多数の参加者があり、市民のスポーツ・レクリエーションの機会提供につながっています。

<那覇市が主催するスポーツイベント（令和6(2024)年度）>

No	大会名	場 所	内 容
1	スポーツフェスティバル IN なは (体育の日無料開放事業)	那覇市民体育館・首里石嶺プール・漫湖市民庭球場	体力測定会、市民ウォーキング大会、その他多数のスポーツに関連する教室が開催されます。なお、教室開催時以外は、各体育施設が無料開放されています。
2	那覇市健康ウォーキング大会 「ひやみから なは ウォーク」	沖縄セルラースタジアム那覇～市内各コース	楽しく歩いて健康に！を目的に、2 kmから 20 kmの各コースを楽しくウォーキングしながら健康づくりを実践することを目指したウォーキング大会です。
3	太陽と海とジョガーの祭典 「NAHA マラソン」	奥武山運動公園～南部一円	本島南部路を通る平和祈念コースに、約 2 万人のランナーが出走する県内最大の市民マラソン大会です。

さらに、那覇市民体育館、那覇市営奥武山野球場等、指定管理者による管理運営が行われている施設では、スポーツ教室の開催が実施されています。

(参考)＜指定管理施設におけるスポーツ教室の開催状況（令和5(2023)年度）＞

◆四半期ごとに開催されている教室

No.	教室・イベント等名称	実施日	時間	定員・ 予定人員	実績	(達成率%)
1	1期 幼児体操(3～4歳・5～6歳クラス)	6/2～7/28	14:30～17:00	40人	21人	53%
2	1期 ヨガ教室	6/2～7/28	10:00～12:00	20人	15人	75%
3	1期 ストレッチボール&ひめトレ骨盤底筋エクササイズ	5/16～7/4	10:30～11:00	20人	12人	60.0%
4	1期 ズンバ教室	5/16～7/4	19:30～21:00	20人	18人	90.0%
5	夏休み児童バドミントン教室	7/24～8/1	9:00～11:00	20人	23人	115.0%
6	夏休み児童チャレンジスポーツ教室(障がい児対象)	7/24～8/14	10:00～11:00	20人	7人	35.0%
7	2期 幼児体操(3～4歳・5～6歳クラス)	9/7～10/26	14:30～17:00	40人	34人	85.0%
8	2期 ヨガ教室	9/7～10/26	19:00～21:00	20人	21人	105.0%
9	2期 ズンバ教室	9/4～11/6	19:30～21:00	20人	20人	100.0%
10	2期 美筋でボディメイク	9/6～11/1	10:00～11:30	20人	15人	75.0%
11	3期 幼児体操(3～4歳・5～6歳クラス)	1/25～3/14	14:30～17:00	40人	42人	105.0%
12	3期 ヨガ教室	1/25～3/14	10:00～12:00	20人	20人	100.0%
13	3期 疲れない・冷えない・痛めない教室	1/17～3/6	19:30～21:00	20人	8人	40.0%
14	3期 はつらつ卓球教室	2/1～3/6	9:00～11:00	20人	14人	70.0%
15	中級者ナイター実践クラス	6/5～9/11	19:00～21:00	20人	11人	55.0%
16	水泳教室(初級・夜)	9/1～9/25	19:00～21:00	10人	12人	120.0%
17	夏休みキッズスイム(低学年)	10/2～10/20	16:00～17:00	10人	9人	90.0%
18	夏休みキッズスイム(高学年)	10/2～10/20	17:15～18:15	10人	7人	70.0%
19	リフレッシュAQUAエクササイズ(夜)	11/1～11/27	19:00～20:00	10人	7人	70.0%
20	水泳教室(初級・夜)	2/2～2/26	19:00～20:00	10人	11人	110.0%
合計				410人	327人	79.8%

◆定期開催されている教室

No.	教室・イベント等名称	実施日	時間	実績 (延べ)
1	モーニングストレッチ&筋トレ(体育館)	毎週水曜日	10:00～11:30	598人
2	シニアクラブ(体育館)	第1・3・5(火曜日)	10:45～12:00	434人
3	体験バドミントン(一般)	毎週金曜日	10:00～12:00	170人
4	児童バドミントン	毎週月・木曜日	17:00～19:00	507人
5	ステップアップテニス	毎週木曜日	9:30～11:00	235人
6	さわやか体験テニス	毎週木曜日	11:30～12:30	181人

第3章 那覇市が目指すスポーツ社会

1. 目指す将来像

那覇市のスポーツ推進の戦略として、目指すべき将来像を「どこでも誰でも生涯スポーツができるまち、NAHA～「生涯スポーツ社会」の実現～」とします。

どこでも誰でも生涯スポーツができるまち NAHA

～「生涯スポーツ社会」の実現～

スポーツ・レクリエーションは、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得等のために、欠かせないものです。スポーツ・レクリエーションを楽しむ機会の充実、市民が生涯にわたり、心身ともに健康で文化的な生活を営むための基盤づくりであるといえます。また、近年ではウェルビーイング（well-being）※¹の概念が世界的に注目されており、スポーツ・レクリエーションが心身の健康増進に直接貢献することに加え、スポーツ・レクリエーションを楽しむことを通して、地域社会において様々な交流を生み社会的な幸福を実現するツールになることが期待されています。

一方で、ライフスタイルの多様化から、市民のスポーツ・レクリエーションの楽しみ方は、多様化しています。そのため、市民一人ひとりが、それぞれのライフスタイルに合わせ、生涯にわたって、スポーツ・レクリエーションを楽しむことができる「生涯スポーツ社会」※²の実現を目指します。

※¹ ウェルビーイング（well-being）とは
心身ともに健康で社会的にも満たされた状態

※² 生涯スポーツ社会とは
スポーツ・レクリエーションが生活に欠かせない文化として市民生活の中に根付き、すべての市民が生涯にわたって各時期にスポーツに親しむことができる社会

2. 数値目標

本計画を、より実効性のあるものとするため、以下の目標を定め、達成状況等を検証・評価しながら、計画の推進を図ります。なお、目標値の設定は、国の「第2期スポーツ基本計画」における目標値（2021年度末目標値）を根拠としています。

目標項目		策定時 (2018年度)	現状値 (2023年度)	目標値 (2028年度)
成人のスポーツ 実施率	【週1回以上】	40.9%	58.1%	65%以上
	【週3回以上】	18.5%	34.9%	35%以上
障がい者のスポーツ 実施率	【週1回以上】	データなし	データなし	40%程度
	【週3回以上】	データなし	データなし	20%程度

成人のスポーツ実施率【週3回以上】については、30%以上を目標値として設定していましたが、最終年度を待たずに目標値に到達していることから、中間見直しにおいて目標値の上方修正を行いました。

障がい者のスポーツ実施率については、中間見直しにあたってアンケート調査を実施したものの実態に対し有意な数値と判断できないため目標値は据え置きとしました。

※那覇市障がい福祉センターで実施したアンケート調査結果（2024.11.15～12.06）

障がい者のスポーツ実施率【週1回以上】：80%

障がい者のスポーツ実施率【週3回以上】：22%

3. 施策体系

目指す将来像

どこでも誰でも生涯スポーツができるまち NAHA
～「生涯スポーツ社会」の実現～

施策1

市民のライフステージに合わせたスポーツ・レクリエーションの推進

1-1

幼児・児童・生徒のスポーツ・レクリエーション活動の推進

1-2

成人及び高齢者のスポーツ・レクリエーション活動の推進

1-3

障がい者のスポーツ・レクリエーション活動の推進

施策2

身近でスポーツ・レクリエーションができる環境の整備・充実

2-1

市民が気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しめる環境の整備

2-2

スポーツ・レクリエーションの普及、指導を行う人材・団体の育成・支援

2-3

スポーツ・レクリエーション活動の振興に向けた啓発及び情報発信

施策3

スポーツコンベンション拠点地としての魅力向上

3-1

スポーツイベント・キャンプ・合宿等の誘致・開催促進

施策4

行政、学校、地域、企業、スポーツ団体等の連携・協働推進

第4章 推進のための施策



1. 市民のライフステージに合わせたスポーツ・レクリエーションの推進

1-1 幼児・児童・生徒のスポーツ・レクリエーション活動の推進

幼児期に、遊びを通じた身体活動を行うことは、体力・運動能力の向上、健康的な体の育成、意欲的な心の育成、社会適応力の発達など、豊かな人生を送るための基盤づくりにつながるとされています。

また、児童・生徒の体力は全国的に昭和 60 年頃と比較し低い傾向にあります。体力の低下による、肥満や生活習慣病の増加や、意欲や気力の減弱など、心の発達にも影響を及ぼすことなどが懸念されており、児童・生徒のスポーツ・レクリエーションの機会の充実による運動習慣の確立と体力の向上は喫緊の課題となっています。

幼児期における体を動かす遊びを通じた基礎的な運動能力の形成、就学期における多様なスポーツの体験を通じた生涯にわたるスポーツ習慣の形成・定着を目的に、体育学習やスポーツ少年団・運動部活動、地域のスポーツクラブ・教室等の多様なスポーツ機会の提供を通じた、スポーツ・レクリエーション活動の推進を図ります。

一方で、スポーツ少年団・運動部活動での長時間の運動によるスポーツ障害等についても、懸念されています。就学期は、子どもたちの心身の発達にとって重要な時期であることから、スポーツ専門指導員によるスポーツ少年団・運動部活動等の指導体制の強化を図り、年齢や身体の発達段階に応じたスポーツ活動の推進についても、取り組んでいきます。

また、急激な少子化が進む中、将来にわたって生徒が継続的にスポーツに親しむ機会を確保することを主な目的とした部活動の地域連携・地域移行（展開）に向けた取り組みが全国的に求められています。本市においても、少子化の影響等により部員数が減少している状況にあるため、休日の部活動を学校管理外となる地域が主体となったスポーツ活動へ移行（展開）する必要があります。

【現状と課題】

- 那覇市における、児童・生徒の体力は、平成 30(2018)年度調査の結果、児童・生徒ともに、全国平均を下回っています。
- 運動やスポーツに積極的に取り組む児童・生徒が多数である一方で、そうでない児童・生徒も一定数存在し、特に女子において、小学校から中学校にかけてその割合が増加する傾向があります。さらに、中学生の 1 週間の総運動時間において、運動している生徒とそうでない生徒との二極化が顕著となっています（資料 P. 78）。
※（那覇市内の児童・生徒の運動実施率） 学校体育以外でスポーツに取り組んだ人の割合
：小学生男子 95.8%、小学生女子 93.6%、中学生男子 92.7%、中学生女子 83.1%
- 「運動やスポーツが嫌い、やや嫌い」と回答した児童・生徒は、国の目標（2021 年度末までに中学生が 8%以下）より多く存在しています。
※（「運動やスポーツが嫌い、やや嫌い」と回答した中学生） 中学生男子 11.0%、中学生女子 18.9%
- 一部のスポーツ少年団・運動部活動において、長時間、かつ休養日を設けずに運動や練習が行われている実態が明らかになっています。
- 少子化等の影響により、部員数が減少し学校単独で大会に参加できない部や、希望する種目の部活動が学校にないといった現状があります。
- 将来にわたって生徒が継続的にスポーツに親しむ機会を確保することや教職員の働き方改革の一環として、休日の部活動を地域主体のスポーツ活動へ移行（展開）する必要があります。

具体的な施策	実施内容	担当課等
幼児を対象としたスポーツ・レクリエーション活動の実施支援・推進	● 子ども園・保育所等において、体を動かした遊びなどを通じて、多様な動きをつくることのできるスポーツ・レクリエーション活動に積極的に取り組みます。	こども教育保育課
児童生徒の基礎体力の向上促進	● 児童生徒が積極的に運動に親しむ資質や能力を育成するとともに、基礎的な体力の向上を図ります。	学校教育課
スポーツ少年団の育成支援	● スポーツ少年団を育成することにより、児童生徒の健全な育成を図るとともに、発達段階に応じた活動の適正化と安全対策のための工夫・改善を図ります。	市民スポーツ課

具体的な施策	実施内容	担当課等
運動部活動の活性化と適正化の促進	● 運動部活動の活性化と発達段階に応じた活動の適正化を図るとともに、安全対策のための工夫・改善を図ります。	学校教育課
スポーツ指導者の派遣推進	● 幼稚園、小中学校、地域スポーツクラブ等が実施するスポーツ・レクリエーション活動に際し、スポーツの指導者（「スポーツ専門指導員」、スポーツ推進委員など）を派遣することで、子どもたちの発達段階に応じた多様な指導を支援します。 —具体的な取組— ・ 専門指導員派遣事業（体育等） ・ スポーツ推進委員事業	市民スポーツ課
児童生徒のスポーツ県外派遣支援	● 市・県を代表して県外スポーツ大会に派遣される児童生徒に対して、派遣費用の一部を補助することにより、スポーツ競技力の向上と広い視野を持つ人材の育成を図ります。 —具体的な取組— ・ 児童のスポーツ県外派遣補助金 ・ 児童生徒の県外派遣補助金	市民スポーツ課 学校教育課
各種スポーツ教室の充実	● 学校体育施設・公民館・児童館等において各種スポーツ教室を開催し、児童生徒のスポーツに親しむ機会を提供します。 —具体的な取組— ・ スポーツ推進委員による地域スポーツ教室開催 ・ 公民館の各種講座	市民スポーツ課 公民館 こども教育保育課

	● 放課後子ども教室において、スポーツ活動に親しむ機会を提供します。	生涯学習課
具体的な施策	実施内容	担当課等
各種競技大会やスポーツイベントの開催	● スポーツフェスティバル in なは、健康ウォーキング大会「ひやみかなはウォーク」等の開催を通して、幼児・児童・生徒の年齢や体力、興味等に合ったスポーツ・レクリエーション機会の提供を図ります。 —具体的な取組— ・ スポーツフェスティバル in なは ・ 健康ウォーキング大会「ひやみかなはウォーク」	市民スポーツ課 健康増進課
休日部活動の地域連携・地域移行（展開）の推進	● 将来にわたって生徒が継続的にスポーツに親しむ機会を確保できるよう、関係団体と協力、連携し取り組みます。	市民スポーツ課 学校教育課

1-2 成人及び高齢者のスポーツ・レクリエーション活動の推進

「第2期スポーツ基本計画」では、市民が心身ともに健康で文化的な生活を営むための基盤として、スポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会を充実することが重要であるとされています。

しかしながら、市民アンケート調査の結果、市民の多くは、運動不足を感じているにもかかわらず、スポーツ・レクリエーションに取り組んでいないことが、明らかになりました。

特に、男性30代、女性の20代～40代の週1回以上のスポーツ実施率は、他の世代と比較して低くなっています。運動をしなかった理由として、「仕事、家事、育児などで忙しいから」「機会がなかったから」が多く挙げられており、これらの世代のニーズに合った、そして参加しやすいスポーツ・レクリエーション機会の提供が求められています。

一方で、高齢者は、働き盛りの世代と比較し、スポーツ実施率は高いものの、運動やスポーツをしなかった場合の理由として「年をとったから」と回答する割合も高くなっています。高齢者でも取り組みやすく、参加しやすいスポーツ・レクリエーションの機会の提供が必要です。

さらに、ライフスタイルの多様化から、市民のスポーツ・レクリエーションの楽しみ方は、多様化しています。市民一人ひとりが、それぞれのライフスタイルに合わせ、生涯にわたって、スポーツ・レクリエーションを楽しむことができるよう、市民のライフステージに合わせたスポーツ・レクリエーション活動の推進を図ります。

【現状と課題】

- 那覇市民のスポーツ実施率は、(週1回以上) 58.1%で、全国と比較して、高くなっています。
※ (国におけるスポーツ実施率) 週1回以上 52.0%
令和5年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」より
※ (沖縄県におけるスポーツ実施率) 週1回以上 58.3%
令和3年度県民の体力・スポーツに関する意識調査報告書より
- 運動は「地域のスポーツクラブや同好会に加入せず、自分自身で行う」人が34.2%で最も多くなっています。また、「ウォーキング」が個人で行う運動種目として最も取り組まれており、個人のライフスタイルにあわせ、器具等を用いず気軽に組み入れるスポーツ・レクリエーションの人气が高まっています。
- スポーツを実施している、7割以上の市民が、スポーツに取り組む理由を、「健康・体力づくりのため」としています。
- 一方で、スポーツに取り組まない理由として、「時間がないから(仕事、家事、育児などで忙しいから)」、「機会がなかったから」が多く挙げられています。

具体的な施策	施策内容	担当課等
成人及び高齢者のライフステージ・ニーズに合わせた各種スポーツ教室の充実	● 公共体育施設、学校体育施設、公民館、公園施設等、市民にとって身近な体育施設を活用し、ライフステージやニーズに合わせたスポーツ教室を実施することで、市民にスポーツ・レクリエーションの機会を提供します。 —具体的な取組— ・ スポーツ推進委員による地域スポーツ教室開催 ・ 公民館の各種講座	市民スポーツ課 公民館
スポーツ指導者の派遣推進	● 地域自治会や、PTA等による地域のスポーツ・レクリエーション活動の実施支援、市主催のスポーツ大会での運営支援等にスポーツ推進委員を派遣することにより、スポーツ・レクリエーション活動を支援します。 —具体的な取組— ・ スポーツ推進委員事業	市民スポーツ課
	● 自治会や地域スポーツクラブ、サークル等が実施するスポーツ・レクリエーション活動に際し、スポーツの指導者（「スポーツ専門指導員」）を派遣することで、ニーズに応じた多様な指導を支援します。 —具体的な取組— ・ 専門指導員派遣事業（体育等）	市民スポーツ課

具体的な施策	施策内容	担当課等
各種競技大会やスポーツイベントの開催	● スポーツフェスティバル in なは、健康ウォーキング大会「ひやみかなはウォーク」、NAHA マラソン等の開催を通して、成人及び高齢者の年齢や体力、興味等に合ったスポーツ・レクリエーション機会の提供を図ります。 —具体的な取組— ・ スポーツフェスティバル in なは ・ 健康ウォーキング大会「ひやみかなはウォーク」 ・ NAHA マラソン	市民スポーツ課 健康増進課 観光課

1-3 障がい者のスポーツ・レクリエーション活動の推進

障がいのある方におけるスポーツニーズは、身体能力の向上による社会復帰、社会参画などの福祉的観点に留まらず、健康・体力づくり、仲間との交流、自己の能力や記録の向上など多様化しており、この状況に対応するためにも、誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境づくりが必要です。

那覇市では、過去 30 年以上にわたり「那覇市障がい者運動会」を継続的に実施、スポーツを通じ、障がい者とその家族、ボランティア団体等の多様な交流を促進してきました。しかしながら、日常的に障がい者が参加できるスポーツ・レクリエーションの機会は少なく、十分であるとは言えません。今後は、地域総合型スポーツクラブや障がい者スポーツ指導員等の協力を積極的に得ながら、スポーツ・レクリエーションの機会をさらに充実させることで、障がい者がよりスポーツ・レクリエーションに親しむことができるよう支援を行う必要があります。

また、現時点では、障がい者のスポーツ実施率や、障がい者のスポーツへの取組やニーズなどの実態は明らかになっていません。調査を実施し、実態を把握することが必要です。

【現状と課題】

- 那覇市では、「那覇市障がい者運動会」を過去 36 年にわたり実施、毎年 500 名以上の参加者がスポーツ・レクリエーションを楽しむ機会として定着しています。
- しかしながら、「那覇市障がい者運動会」以外に障がい者を対象としたスポーツ・レクリエーションイベントや教室は那覇市体育協会が障がいのある子どもたちを対象として夏休み期間等を実施する「チャレンジプログラム」等の他、ほとんど実施されていません。
- 障がい者のスポーツ実施率や、スポーツ・レクリエーションに対する取組や、ニーズについて把握されておらず、実態が明らかになっていません。

具体的な施策	施策内容	担当課等
障がい者のスポーツ・レクリエーション活動の推進	障がい者を対象としたスポーツ・レクリエーション教室や「那覇市障がい者運動会」等のイベントを通じて、障がい者のスポーツ・レクリエーションの機会を提供し、推進を図ります。	障がい福祉課 市民スポーツ課
障がい者スポーツ団体の活動支援	障がい者スポーツに取り組む競技選手並びに指導者の育成、競技力向上を図るため、関係団体と連携しながら、障がい者の競技団体による活動を支援します。	障がい福祉課 市民スポーツ課
各種競技大会やスポーツイベントの開催	- スポーツフェスティバル in なは、健康ウォーキング大会「ひやみかちなはウォーク」等の開催を通して、障がい者の年齢や体力、興味等に合ったスポーツ・レクリエーション機会の提供を図ります。 —具体的な取組— ・スポーツフェスティバル in なは ・健康ウォーキング大会「ひやみかちなはウォーク」	市民スポーツ課 健康増進課



2. 身近でスポーツ・レクリエーションができる環境の整備・充実

2-1 市民が気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しめる環境の整備

生涯スポーツ社会の実現に向けて、市民が気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しむことのできる環境を整備、充実させることは必要不可欠です。

特に、那覇市営奥武山体育施設や那覇市体育館等のハード施設は、スポーツ・レクリエーション活動の土台となるものであり、多くの市民が利用しています。引き続き、施設の整備・充実が求められています。人口減少や財源等についても踏まえながら、既存施設の計画的な改修・改善に取り組んでいきます。また、既存施設の有効活用のために、新たな施設管理運営のあり方について、検討を行います。市民アンケート調査においても、施設の利用時間帯の拡大、利用手続きや料金の支払い方法の簡略化等について、要望が多く挙げられている中、新型コロナウイルスの拡大を契機に、さらなるデジタル技術の活用が求められており、市民のライフスタイルやニーズに合った施設利用方法について、改善を図ります。

併せて、市民にとって身近なスポーツ・レクリエーションの場である学校体育施設の整備、充実を図り、学校開放についても引き続き取り組みます。

また、スポーツ施設の整備、充実にあたっては、ユニバーサルデザインの考え方に基づき、高齢者や障がい者、すべての人が利用しやすい、スポーツ・レクリエーションに取り組みやすい施設となるよう配慮します。

さらに、本市においては、ゼロカーボンシティ宣言を令和6年1月31日に行っており、2050年までの二酸化炭素排出実質ゼロを目指しています。脱炭素社会の実現に向けて、スポーツ施設においても省エネルギー対策の推進に取り組みます。

【現状と課題】

- 那覇市奥武山体育施設をはじめとする公共体育施設の年間利用者は、令和 5 年度は、67 万人以上となっています。
- 学校開放の利用率は、令和 5 年度、小学校体育館が 91.7%、中学校体育館が 94.5%、夜間運動場が 10.66%となっています。
- 市民アンケート調査によると、スポーツ施設に対する要望として多く挙げられているものは、以下のとおりです。施設利用の利便性向上に対する要望が多くなっています。
 - 「身近で利用できるよう施設数の増加」53.4%
 - 「利用時間帯の拡大（早朝、夜間など）」29.9%
 - 「利用手続き、料金の支払い方法などの簡略化」28.1%
 - 「高齢者や障がい者に配慮した施設・設備の整備」23.2%
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を契機に、対面での手続きから可能な限りオンラインでの手続きとなるようデジタル技術の活用が求められています。
- 本市では、令和 6 年 1 月 31 日にゼロカーボンシティ宣言を行い、2050 年までに二酸化炭素排出実質ゼロをめざしており、スポーツ施設においても省エネルギー対策の推進が求められています。

具体的な施策	施策内容	担当課等
スポーツ施設の整備、充実	● 那覇市民体育館、那覇市民首里石嶺プール、那覇市営奥武山体育施設、漫湖公園市民庭球場等、既存施設の計画的な改築・改修を行います。 ● ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、すべての人が利用しやすい施設整備を推進します。既存の公共施設については、高齢者や障がい者が利用しやすいよう、施設のバリアフリー化を推進します。	市民スポーツ課 公園建設課

具体的な施策	施策内容	担当課等
スポーツ施設の管理運営の充実	● 那覇市民体育館、那覇市営奥武山体育施設等における指定管理者制度の活用を継続するとともに、より効率的で市民にとって利便性の高いスポーツ施設の管理運営に取り組みます。 ● 市民にとってより利用しやすい施設とするために、利用時間帯の拡大、施設の利用手続き等について検討を進めます。 ● 障がい者の施設利用受付マニュアルの作成など、障がい者が気軽に利用できる那覇市営体育施設利用の仕組みを検討します。	市民スポーツ課
学校体育施設の整備、充実	● 市民が学校体育施設を安心・安全・快適に活用することができるよう、施設の適切な維持管理に努めます。 ● 「学校施設の長寿命化計画」に基づき、中長期的な維持管理等に係る施設の維持管理費の縮減等に取り組むとともに、学校体育施設に求められる機能・性能の確保との両立を図ります。	施設課 市民スポーツ課
学校体育施設開放事業の充実	● 市民にとって身近なスポーツ・レクリエーションの場である学校体育施設の開放を行い、市民のスポーツ・レクリエーション環境を維持します。 ● 「学校施設の長寿命化計画」に基づき、中長期的な維持管理等に係る施設の維持管理費の縮減等に取り組むとともに、学校体育施設に求められる機能・性能の確保との両立を図ります。	市民スポーツ課

具体的な施策	施策内容	担当課等
公園施設の整備、充実	● 身近な公園において市民が気軽にスポーツやレクリエーションを楽しむことができるよう、公園施設の整備充実を図るとともに、既存の公園施設や遊具等については、利用者が安心安全に利用できるよう、適正に維持管理を行います。 ● ユニバーサルデザインに配慮し、高齢者や障がい者がスポーツ・レクリエーションに取り組みやすい施設の整備、充実を図ります。	公園建設課 公園管理課
スポーツ・レクリエーション施設における DX の推進	● 市民にとって利用しやすい施設になるようオンラインでの施設予約を拡充し、効率よく利用できる環境整備の推進に取り組みます。	関係各課
スポーツ・レクリエーション施設における省エネルギー化の推進	● ゼロカーボンシティの実現に向けスポーツ・レクリエーション施設においても、省エネルギー化を図ります。	関係各課

2-2 スポーツ・レクリエーションの普及、指導を行う人材・団体の育成・支援

市民が気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しむことのできる環境を整備、充実させる観点から、ハード面であるスポーツ施設整備と併せ、ソフト面にあたる、スポーツ人材や、スポーツ・レクリエーション活動の推進に取り組む関係団体の育成・支援も重要です。

那覇市においては、市民へのスポーツ・レクリエーション活動機会の提供を行う人材として、スポーツ推進委員の育成・確保に取り組んできました。しかしながら近年、特に若年層において担い手が不足している状況にあります。

また、従来の活動は、教育委員会が関係する、学校や地域、PTA 等で開催される行事でのスポーツ指導が中心であったものの、近年、福祉・介護等の分野においてスポーツ・レクリエーションの取組が進んでいることから、那覇市全体として、市のスポーツ・レクリエーションに関連するイベントでのスポーツ推進委員の活躍が期待されるところです。

これらの状況を踏まえながら、引き続き、スポーツ推進委員の育成・確保に取り組んでいきます。

市民へのスポーツ・レクリエーション活動機会の提供を行う団体として、総合型地域スポーツクラブの創設・運営支援にも取り組んでいきます。総合型地域スポーツクラブの創設を支援することで、身近にスポーツ・レクリエーションが楽しめる環境の整備につながることが期待されます。

一方で、スポーツ指導者の育成・確保も大きな課題です。近年児童・生徒の過度な運動によるスポーツ障害・外傷等のリスクが指摘されています。児童・生徒の成長段階にあわせた適切な運動指導を行うことができるスポーツ指導者が求められています。市民においても、「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」、「健康・体力づくりのための運動やスポーツのプログラムの作成・指導ができる人」へのニーズが高くなっています。障がい者スポーツにおいても、指導者の不足から、十分な練習ができない等の課題が挙げられています。これらのニーズに応えるため、日本スポーツ協会や日本障がい者スポーツ協会等が認定する有資格者をいかしてスポーツ実施の促進を図るなど、人材の育成・確保に取り組めます。

さらに、那覇市体育協会を中心に、各種競技スポーツ団体、スポーツ少年団が、競技スポーツの推進に取り組んでいます。競技スポーツ選手及び指導者の育成、競技力の向上を図るため、沖縄県中学校体育連盟・沖縄県高等学校体育連盟等の関係団体とも連携を図りながら、関係団体の支援に取り組んでまいります。

【現状と課題】

- 那覇市スポーツ推進委員として 20 名が活躍しています（令和 6 年度現在）。しかしながら、定員 53 名に対し、充足率が 38%と担い手が不足しています。
- 地域スポーツクラブは市内に 5 クラブあるものの、総合型地域スポーツクラブはありません。
- 沖縄県内でスポーツ指導者の資格保有者は、スポーツ指導者が 3,370 名、障がい者スポーツ指導者が 226 名に留まっており、人材不足感が強まっています。

具体的な施策	施策内容	担当課等
スポーツ推進委員の育成、活動支援	● スポーツ活動を推進する人材として、スポーツ推進委員の確保に努めるとともに、各種研修会、講習会、研究大会を通じて、資質の向上を図ります。 ● スポーツ推進委員について広く市民に周知を図り、スポーツ・レクリエーション活動での活用を呼びかけます。	市民スポーツ課
スポーツ・レクリエーションの指導者育成	● 市民の多様なスポーツ・レクリエーション活動の機会確保に向け、スポーツを指導する人材のための研修会・講習会等の開催・参加促進により、専門的知識と高い技術を有する指導者を育成し、市内小中学校、関係団体、市主催のスポーツイベント等において積極的に活用を図ります。	市民スポーツ課
障がい者スポーツの指導者育成	● 障がい者のスポーツ・レクリエーション活動の機会確保に向け、障害者スポーツを指導する人材のための講習会等の開催・参加促進により、専門的知識と高い技術を有する指導者を育成し、市内小中学校、関係団体、市主催のスポーツイベント等において積極的に活用を図ります。	市民スポーツ課 障がい福祉課

具体的な施策	施策内容	担当課等
那覇市体育協会の活動支援	● 市民の健康・体力づくりを推進し、スポーツ・レクリエーションの普及・振興を図ることを目的とする「那覇市体育協会」の取組活動を支援します。	市民スポーツ課
総合型地域スポーツクラブの創設・運営支援	● 市民がそれぞれの興味・目的に応じて、行政や学校等と連携しながら自主運営ができる総合型地域スポーツクラブの創設・運営を支援します。	市民スポーツ課
競技スポーツ団体の活動支援	● 競技選手並びに指導者の育成、競技力向上を図るため、那覇市体育協会等の関係団体と連携しながら、競技スポーツ団体による選手の活動を支援し、競技スポーツの推進を図ります。	市民スポーツ課
スポーツ少年団の育成支援 ＜再掲＞	● スポーツ少年団を育成することにより、児童生徒の健全な育成を図るとともに、発達段階に応じた活動の適正化と安全対策のための工夫・改善を図ります。	市民スポーツ課
障がい者スポーツ団体の活動支援 ＜再掲＞	● 障がい者スポーツに取り組む競技選手並びに指導者の育成、競技力向上を図るため、関係団体と連携しながら、障がい者の競技団体による活動を支援します。	障がい福祉課 市民スポーツ課

2-3 スポーツ・レクリエーション活動の振興に向けた啓発及び情報発信

日常的にスポーツ・レクリエーションに取り組み、運動習慣を身に付けることで、生活習慣病の予防・改善や介護予防を通じて健康長寿の延命や社会全体での医療費抑制が期待されます。

このことから、市民にスポーツ・レクリエーション活動に対する関心を高め、参加してもらうことを目的に、スポーツを行うことの必要性や効果に関する普及啓発活動に取り組みます。

また現在、那覇市では、市内で開催されるイベント・講座内容を紹介する生涯学習情報サイト「あけもどろネット」を那覇市ホームページに開設しており、このうち「那覇市生涯学習メニューブック」は冊子としても配布されています。ここから「スポーツ・レクリエーション」及び「健康」関連の情報を得ることが可能ですが、市民アンケートの結果などから、さらなる充実と周知を図る必要があります。スポーツを始め、保育、教育、健康、福祉、観光等さまざまな分野に関連する運動・スポーツ・レクリエーションに関する情報について、関係課の連携を強化し、わかりやすい情報提供に努めます。

【現状と課題】

- 市民アンケートによると、スポーツに関する情報を得る手段として、「市の広報誌」(22.2%)や「新聞、雑誌」(30.3%)からの情報の取得が多くなっています。しかしながら、「特に情報は得ていない」(39.1%)と回答している人が最も多く、市民に関心を持ってもらうための情報発信のあり方について、検討が必要です。
- 那覇市では、市内で開催されるイベント・講座内容を紹介する生涯学習情報サイト「あけもどろネット」を那覇市ホームページに開設しています。このうち、「那覇市生涯学習メニューブック」では、分野ごとに講座内容が整理されており、「スポーツ・レクリエーション」及び「健康」項目では、関連するさまざまな講座情報を入手することができます(冊子としても配布)。

具体的な施策	施策内容	担当課等
運動習慣の定着に向けた啓発と実践への支援	● スポーツ・レクリエーションを行うことの必要性や効果に関する普及啓発活動に取り組みます。	市民スポーツ課 健康増進課
わかりやすい情報提供の推進	● スポーツを始め、保育、教育、健康、福祉、観光等さまざまな分野に関連する運動・スポーツ・レクリエーションに関する情報について、関係各課の連携を強化し、わかりやすい情報提供に努めます。	関係各課



3. スポーツコンベンション拠点地としての魅力向上

3-1 スポーツイベント・キャンプ・合宿等の誘致・開催促進

那覇市の気候や立地条件を最大限に活用し、スポーツアイランド沖縄の中心的役割を担う施策に取り組みます。

定着したプロ野球キャンプに倣い、スポーツコンベンション拠点地としての魅力を向上させ、スポーツ合宿等の誘致を図ります。

また、NAHA マラソン等、県外・海外からの参加者が多いスポーツイベントについても継続して取り組むことで、スポーツコンベンション拠点地としての認知拡大に取り組めます。

【現状と課題】

- NAHA マラソンは、令和 6(2024)年度に実施された第 38 回大会では、参加者 21,438 人のうち、県外からの参加が 7,809 人、海外からの参加が 906 人となっており、県外・海外からの多くの参加がある、那覇市を代表するスポーツイベントとなっています。
- 那覇市では平成 23(2011)年 2 月から、那覇市営奥武山野球場の整備に合わせて、プロ野球チームの那覇市でのキャンプを支援しています。
- 平成 29(2017)年 8 月には、沖縄県による J リーグ規格スタジアム整備基本計画が策定されており、奥武山を中心地とした新たなスポーツコンベンションの気運が高まっています。
- 沖縄 21 世紀ビジョンでは、基本施策として、生涯スポーツや競技スポーツ、スポーツコンベンションの推進による「スポーツアイランド沖縄」の形成を目指すこととされ、スポーツコンベンションについては、地域スポーツ拠点の形成を図るとともに、各種スポーツキャンプやイベントの誘致活動を行い、スポーツを通じた交流と受け入れ態勢の整備に取り組むとしています。
- スポーツコンベンションへの取組は、国のスポーツ基本計画における「スポーツを『する』『みる』『ささえる』スポーツ参画人口の拡大と、スポーツを通じた経済・地域の活性化にもつながるもの」といえます。

具体的な施策	施策内容	担当課等
スポーツ合宿等の誘致・開催促進	● スポーツコンベンション拠点地としての魅力を向上させるため、スポーツキャンプ・合宿・大会等の誘致、開催促進を図ります。	観光課 市民スポーツ課
プロスポーツを身近に感じることのできる環境の推進	● 青少年の健全育成、スポーツの振興、地域経済の活性化等に寄与する取組として、プロ野球チームの那覇市でのキャンプを支援します。	観光課 市民スポーツ課

4. 行政、学校、地域、企業、スポーツ団体等との連携・協働推進

スポーツ・レクリエーション活動を推進していくためには、行政、地域社会、学校、企業、スポーツ団体等それぞれが果たすべき役割のもと、連携、協力することが必要であるといえます。関係者の連携体制のもと、「どこでも誰でも生涯スポーツができるまち NAHA～「生涯スポーツ社会」の実現～」に向かうことが求められています。その中でも、多様化する市民のスポーツ・レクリエーションへのニーズにきめ細かく対応していくためには、地域ごとのスポーツ・レクリエーション活動拠点の構築が重要となります。競技スポーツクラブ、地域スポーツクラブ・同好会、スポーツ少年団や運動部、総合型地域スポーツクラブなど、地域で活動する多様なスポーツ団体、関係者の連携を図るため、学校を地域コミュニティの拠点として位置づけ、学校のオープン化を図ります。その中で、地域学校連携施設や学校体育施設の効果的な活用について検討し、市民が身近に参加しやすいスポーツ・レクリエーション環境の整備につなげます。

【現状と課題】

- 那覇市では現在、学校を、地域の人々や団体等をつなぐ場、子育て・健康・福祉サービスを行う場等のコミュニティの拠点（プラットフォーム）として位置づけ、学校のオープン化に努めています。
- 地域で活動するスポーツ団体は、多く存在しているものの、スポーツ団体同士の連携や協力が進んでいません。
- 市民アンケート調査によると、スポーツ施設に対する要望として、「身近で利用できるよう施設数を増加」させることについて最も多く寄せられており、学校体育施設の利用ニーズは非常に高いと考えられます。

具体的な施策	施策内容	担当課等
行政、学校、地域、企業、スポーツ団体等との連携・協働推進	● 行政、学校、地域、企業、スポーツ団体等との連携を推進し、市民のスポーツ・レクリエーション活動における効果的な協働の取組を進めます。 ● 学校を地域コミュニティの拠点として位置づけ、学校のオープン化を図る中で、地域学校連携施設や学校体育施設の効果的な活用について検討し、市民が身近に参加しやすいスポーツ・レクリエーション環境の整備につなげます。	関係各課

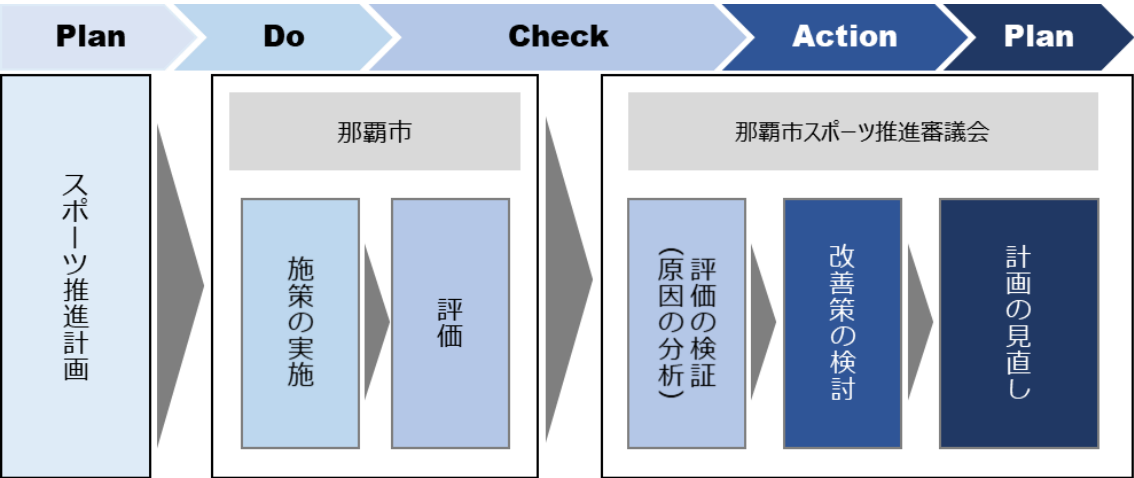
第5章 計画の推進に向けて

1. 施策の進行管理のあり方

本計画の目標を達成するため、PDCA マネジメントサイクルの考え方の下で、計画の進行管理を行います。

計画の進行管理は、那覇市スポーツ推進審議会が行うこととし、「目標達成度の評価」と「施策内容の評価」により、計画の進捗を評価、必要に応じて計画の改善を図ります。

<進行管理の流れ>



<評価方法>

評価項目	評価内容	評価方法
目標達成度	● 市民のスポーツ実施率の達成状況	(成人) 市民意識調査に調査項目を設定。2年に1度計測し、検証を行う。 (障がい者) なは障がい者プラン改定時の実態調査に調査項目を設定。検証を行う。
施策内容	● 施策の狙い ● 取組状況 ● 主な成果と課題 ● 今後の取組	各事業ごとの目的・目標が達成されているか、関係する部署等からのヒアリングにより調査・検証する。